

高校 通信制課程2025年行事予定

4月			5月			6月			7月			8月			9月		
曜	日	通信教育	曜	日	通信教育	曜	日	通信教育	曜	日	通信教育	曜	日	通信教育	曜	日	通信教育
															月 1	指定休	首都圏SC・定期試験
火	1								火	1					火	2	
水	2								水	2	名古屋SC7				水	3	
木	3		木 1	5/4法定振替休					木	3	京都SC7 ゴルフ・サッカー④				木	4	首都圏小論文模試・共テガイ ダンス(甲府)(中部私学研修)
金	4		金 2	松本Sc1					金	4	漢字検定	金 1	レポート×切 レポート学習日		金	5	共テガイダンス(首都圏) (中部私学研修)
土	5	指定休	土 3	甲府SC1 憲法記念日					土	5	指定休・首都圏高12進路ガイ ダンス	土 2	指定休		土	6	指定休
日	6		日 4	甲府SC2 みどりの日		日 1			日	6		日 3	校内型体育SC@塩部		日	7	
月	7		月 5	甲府SC3 こどもの日		月 2	3年進研大学入学共通テス ト 長岡体育SC@アオーレ		月	7	3年進研総合学力記述・長岡SC4 首都圏体育SC@八王子	月 4			月	8	
火	8	横浜学習ガイダンス 甲府学習ガイダンス	火 6	甲府SC4 振替休日		火 3	名古屋SC4		火	8	京都体育SC	火 5	定期試験(名古屋)		火	9	
水	9	大宮四谷学習ガイダンス 甲府学習ガイダンス	水 7	5/5祝日振替休		水 4	京都SC4		水	9	名古屋体育SC@ドルフィン ズアリーナ	水 6	定期試験(名古屋)		水	10	
木	10	甲府学習ガイダンス	木 8	5/6振替休		木 5	ゴルフ・サッカー①・小論文 模試(首都圏)		木	10		木 7	定期試験(松本・京都)		木	11	
金	11	入学式・ガイダンス(名古屋・京都) 甲府学習ガイ ダンス	金 9	生徒交流会(富士急)		金 6	レポート×切 レポート学習日		金	11	2年進研総合学力記述	金 8	定期試験(松本・京都)		金	12	生徒交流会 西:USJ 東:TDS
土	12	入学式・ガイダンス(甲府)	土 10	指定休 進路対策実践講座(甲府)		土 7	指定休 大宮SC2		土	12	指定休・首都圏面接志望 理由対策	土 9	夏期休暇①		土	13	指定休
日	13	入学式・ガイダンス(首都圏)	日 11			日 8			日	13		日 10			日	14	
月	14		月 12	レポート学習日 横浜SC1		月 9	指定休 長岡SC2		月	14	レポート学習日 葵美デコSc3予定美概・素 描	月 11	山の日		月	15	敬老の日
火	15		火 13	定通総体(陸上) 横浜SC1		火 10	松本SC3 横浜SC		火	15	横浜SC3	火 12	夏期休暇②		火	16	
水	16		水 14	名古屋SC2 首都圏体育SC@神奈川県立 スポーツセンター		水 11	首都圏体育SC@サイデン 化学アリーナ		水	16	横浜SC3	水 13	夏期休暇③		水	17	首都圏卒業式
木	17		木 15	京都SC2・四谷SC1		木 12	横浜SC2 ゴルフ・サッカー②		木	17	四谷SC3 ゴルフ・サッカー⑤	木 14	夏期休暇④		木	18	
金	18		金 16	松本SC2・四谷SC1		金 13	四谷SC2		金	18	松本SC5・四谷SC3	金 15	夏期休暇⑤		金	19	3年ベ・駿大学入学共通テスト
土	19	指定休	土 17	指定休 四谷SC1		土 14	甲府SC7・四谷SC2		土	19	四谷SC3	土 16	定期試験(甲府)		土	20	
日	20		日 18	校内型体育SC@塩部		日 15	甲府SC8・四谷SC2		日	20	校内型体育SC@塩部	日 17	定期試験(甲府)		日	21	
月	21		月 19	長岡SC1		月 16	6/15法定振休		月	21	甲府SC9	月 18	定期試験(甲府・四谷)		月	22	首都圏大学出張講義
火	22		火 20			火 17	名古屋SC5		火	22	甲府SC10	火 19	定期試験(四谷)		火	23	秋分の日
水	23	(合同避難訓練)	水 21			水 18	京都SC5 松本体育SC		水	23		水 20	定期試験(静岡・横浜・長岡)		水	24	
木	24	名古屋SC1	木 22	駿台Grガイダンス(甲府)		木 19	京都体育SC@京都テルサ 中遠体育SC		木	24	ゴルフ・サッカー⑥	木 21	定期試験(横浜・長岡)		木	25	
金	25	京都SC1	金 23	5/25法定振休		金 20	中遠体育SC		金	25	7/21振替休日	金 22	8/17法定振休 定期試験(大宮)		金	26	入試説明会
土	26	指定休	土 24	甲府SC5・大宮SC		土 21	指定休・進路講演会(全日 合同)		土	26	指定休・大宮SC	土 23	指定休 定期試験(大宮)		土	27	指定休
日	27		日 25	甲府SC6		日 22			日	27		日 24			日	28	
月	28	指定休	月 26	名古屋体育SC@ドルフィンズア リーナ 葵美デコSc1PM美術概論(a) 指定休		月 23	首都圏キャンパスツアー 葵美デコSc2PM素描(a)		月	28	甲府SC11	月 25	8/31法定振休 追再試験(四谷)		月	29	
火	29	昭和の日	火 27	名古屋SC3		火 24	名古屋体育SC@ドルフィンズ アリーナ		火	29	甲府SC12	火 26	追再試験(四谷)		火	30	
水	30	5/3祝日振休	水 28	京都SC3 定通総体(バト・卓)		水 25	名古屋SC6		水	30	甲府SC13	水 27	追再試験(名古屋・横浜)				
			木 29	京都体育SC@京都テルサ		木 26	京都SC6 ゴルフ・サッカー③		木	31		木 28	追再試験(京都・横浜)				
			金 30	特別講座(県美)		金 27	松本SC4					金 29	追再試験(大宮)				
			土 31	指定休 定通総体(バスケ)		土 28	指定休 高3進路ガイダ ンス					土 30	追再試験(甲府・大宮)				
						日 29	校内型体育SC@塩部 大宮SC					日 31	追再試験(甲府)				
						月 30	特別講座(情報) 長岡SC3										

高校 通信制課程2025年行事予定

10月			11月			12月			1月			2月			3月		
曜	日	通信教育	曜	日	通信教育	曜	日	通信教育	曜	日	通信教育	曜	日	通信教育	曜	日	通信教育
						月	1	レポート ≠ 切 レポート学習日									
						火	2	首都圏体育SC@神奈川									
水	1					水	3										
木	2					木	4	高3進路G首都圏	木	1	元旦						
金	3	首都圏学習ガイダンス				金	5	3年駿ブレ共通テスト 12/7法定振替休	金	2	年始休暇④						
土	4	指定休	土	1	11/2法定振替休 大宮SC2	土	6	甲府SC6 高12進路ガイダンス首都圏	土	3	年始休暇⑤						
日	5		日	2	甲府SC1	日	7	甲府SC7	日	4		日	1	甲府SC13	日	1	
月	6		月	3	文化の日 甲府SC2	月	8	松本SC3・横浜SC2	月	5	レポート学習日	月	2	2/1法定振替休	月	2	指定休 首都圏SC・定期試験
火	7		火	4	11/3振休 横浜SC1	火	9	京都体育SC・横浜SC2	火	6		火	3	レポート ≠ 切 レポート学習日	火	3	
水	8		水	5	レポート学習日 横浜SC1	水	10	長岡SC3・四谷SC2 名古屋体育SC	水	7	松本SC4	水	4		水	4	
木	9	首都圏体育SC@八王子	木	6	長岡SC1・四谷SC1 3年ベ・駿共通テスト	木	11	長岡SC4・四谷SC2 ゴルフ・サッカー③	木	8		木	5		木	5	
金	10	3年ベ・駿記述	金	7	長岡SC2・四谷SC1 2年進研総合学力記述	金	12	12/14法定振替休 四谷SC2	金	9		金	6	漢字検定	金	6	
土	11	指定休	土	8	甲府SC3・四谷SC1	土	13		土	10	指定休	土	7	指定休	土	7	指定休
日	12		日	9	甲府SC4	日	14	甲府SC8	日	11		日	8		日	8	
月	13	スポーツの日	月	10	名古屋体育SC 11/9法定振替休	月	15	指定休	月	12	成人の日	月	9	定期試験(松本・長岡・四谷) 2年進研共テ模試	月	9	
火	14		火	11	名古屋SC2	火	16	名古屋SC5・早期試験(横浜)	火	13	指定休	火	10	定期試験(松本・長岡・名古屋・四谷)	火	10	首都圏卒業式
水	15		水	12	京都SC2	水	17	京都SC5・早期試験(横浜)	水	14	名古屋SC6	水	11	建国記念の日 定期試験(名古屋)	水	11	
木	16	身延交流会	木	13	京都体育SC	木	18	ゴルフ・サッカー④ 早期試験(四谷)	木	15	京都SC6 ゴルフ・サッカー⑤	木	12	定期試験(京都・横浜)	木	12	
金	17	身延交流会	金	14	松本SC2	金	19	指定休 早期試験(四谷)	金	16	2年進研総合学力記述	金	13	定期試験(京都・横浜)	金	13	名古屋京都卒業式 3/15法定振替休
土	18	指定休・大宮SC1	土	15	指定休	土	20	甲府SC9 早期試験(大宮)	土	17	法定振休(1/18分) 大宮SC・共通テスト・中学一般入試	土	14	指定休 定期試験(大宮)	土	14	
日	19		日	16	甲府SC5	日	21	甲府SC10 早期試験(大宮)	日	18	甲府SC11 共通テスト	日	15	定期試験(大宮)	日	15	甲府本校卒業式
月	20		月	17	11/16 法振休	月	22		月	19	自己採点 1年進研総合学力記述	月	16	2/11振替休日	月	16	進学資金ガイダンス(甲府)
火	21		火	18	名古屋SC3 首都圏体育SC@さいたま	火	23		火	20	松本SC5・横浜SC3	火	17	追再試験(四谷)	火	17	
水	22		水	19	京都SC3	水	24		水	21	横浜SC3	水	18	追再試験(四谷)	水	18	
木	23		木	20	ゴルフ・サッカー①	木	25	校内型体育SC@塩部	木	22	早期試験(甲府)・四谷SC3 ゴルフ・サッカー⑤	木	19	追再試験(横浜)	木	19	芸術鑑賞会
金	24	松本SC1・漢字検定	金	21		金	26	12/21法定振休	金	23	早期試験(甲府)・四谷SC3	金	20	2/22法定振替休 追再試験(横浜)	金	20	春分の日
土	25	指定休	土	22	指定休・高3ガイダンス首都圏	土	27	指定休	土	24	指定休	土	21	定期試験(甲府) 追再試験(大宮)	土	21	OBOG講演会(甲府)
日	26	校内型体育SC@塩部	日	23	勤労感謝の日 大宮SC3 校内型体育SC@塩部	日	28		日	25	校内型体育SC@今井	日	22	定期試験(甲府) 追再試験(大宮)	日	22	
月	27		月	24		月	29	年末休暇①	月	26	指定休 名古屋体育SC	月	23	定期試験(甲府) 天皇誕生日	月	23	
火	28	名古屋SC1	火	25	長岡体育SC	火	30	年末休暇②	火	27	長岡SC5 京都体育SC	火	24	指定休	火	24	
水	29	京都SC1	水	26	名古屋SC4	水	31	年末休暇③	水	28	長岡SC6 首都圏体育SC@八王子	水	25	追再試験(名古屋)	水	25	
木	30		木	27	ゴルフ・サッカー② 京都SC4				木	29		木	26	追再試験(京都)	木	26	
金	31	1年総合学力記述	金	28					金	30	特別講座(NNS)	金	27	追再試験(甲府)	金	27	指定休
			土	29	指定休 大宮SC				土	31	甲府SC12	土	28	追再試験(甲府)	土	28	指定休
			日	30											日	29	
															月	30	指定休
															火	31	指定休

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	6	2	1	1TV現代の国語	2022	3.4		

教科書	学習書	副教材
東京書籍 現国701 新編現代の国語	東京書籍 新編現代の国語 学習課題ノート	使用しない

学習目標
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、論理的に考える力や深く共感したり想像する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合い、考えを広げ、深めて、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

学習内容
1.随想 『ルリボシカミキリの青』 福岡伸一 (第1回レポート) 2.評論 『未来をつくる想像力』 石田英俊 (第2回レポート) 3.評論 『水の東西』 山崎正和 評論の読み方 (第3回レポート) 4.随想 『鍋洗いの日々』 村上信夫 (第4回レポート) 5.表現 『新聞を読んで意見文を書こう』 『相手に応じた言葉の選び方』 (第5回レポート) 6.評論 『真の自立とは』 鷲田清一 (第6回レポート)

学習方法
【レポート】 教科書の内容を、学習書を参考にして学習を進める。学習書の解説を丸写ししても正解にはならないこともある。 【スクーリング】 主にレポートで取り上げた作品の読解、解説、考察を行う。関連した別作品やプリント教材を使用することもある。 【放送視聴】NHK高校講座「便利な道具 比較」を視聴し、『水の東西』のような二項対立思考の方法、効果を学ぶ。 【試験】レポートの学習内容を確認する問題を出題する。

評価方法
6回のレポート全てが合格し、授業に2時間（放送視聴レポート提出の場合は1時間）以上出席し、定期試験の得点が35点以上であることが単位認定の目安。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
関心・意欲・態度 言語表現への関心を深め、その能力向上を図ろうとする。	話す・聞く能力 場面に応じて聞き取り、話すことができる。	書く能力 場面に応じて適切な言葉を用いて書き、表現することができる。	読む能力 現代の文章を正確に読み取り、解釈し、理解できる。	知識・理解 現代の文章表現に適切な、文法や漢字などの知識を理解し身に付けている。

教科担当より一言
教科書及び学習書を熟読、考察した上で、レポート・スクーリング等に取り組んでほしい。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	6	2	1	1Radio言語文化	2022	4.4		

教科書	学習書	副教材
東京書籍 言文701 新編言語文化	東京書籍 新編言語文化 学習課題ノート	使用しない

学習目標
言語活動を通して、生涯にわたり必要な国語の技能を身に付けるとともに、日本語に固有の言語文化に対する理解を深め、他者との関わりの中で、言語文化の担い手としての自覚をもち、他者や社会に関わろうとする態度を養う。

学習内容
1.現代文 詩歌 命をうたう (第1回レポート) 2.古文 古文入門 『児のそら寝』『用光と白波』『絵仏師良秀』 (第2回レポート) 3.漢文 訓読の基本 『守株』『五十歩百歩』『借虎威』 (第3回レポート) 4.現代文 『羅生門』芥川龍之介 (第4回レポート) 5.古文 『徒然草』『枕草子』『折々のうた』 (第5回レポート) 6.漢文 漢詩 『論語』 (第6回レポート)

学習方法
【レポート】 教科書の内容を、学習書を参考にして学習を進める。学習書の解説を丸写ししても正解にはならないこともある。 【スクーリング】 主にレポートで取り上げた作品の読解、解説、考察を行う。関連した別作品やプリント教材を使用することもある。 【放送視聴】NHK高校講座言語文化「用光と白波」を視聴し、古典文法の基本となる用言の活用への理解を深める。 【試験】レポートの学習内容を確認する問題を出題する。

評価方法
6回のレポート全てが合格し、授業に2時間（放送視聴レポート提出の場合は1時間）以上出席し、定期試験の得点が35点以上であることが単位認定の目安。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
関心・意欲・態度 言語表現への関心を深め、その能力向上を図ろうとする。	読む・話す・聞く能力 歴史的仮名遣いを理解し、場面に応じて聞き話すことができる。	書く能力 場面に応じて適切な言葉を正しく用いて書き、表現することができる。	読む能力 古典も現代文をも正確に読み取り、解釈し、理解できる。	知識・理解 古典も現代文も、文法や漢字などの知識を理解し身に付けている。

教科担当より一言
理解を進めるために、教科書、学習書を熟読、実践の後に、レポート、スクーリング等に取り組んでほしい。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	6	2	1	1TVロンのちから	2023	111		

教科書	学習書	副教材
第一 論国712 高等学校 標準論理国語	第一学習社 標準論理国語 学習課題集	使用しない

学習目標
・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、物事を言葉を通して論理的、批判的に考える力、他者の言葉、考えを理解、比較し、自分の思いや考えを深め、更にはそれを書き表す意志、能力を養う。

学習内容
1.価値観の理解 『新しい地球観』毛利衛 (第1回レポート) 2.母語の理解 『数え方で磨く日本語』飯田朝子 (第2回レポート) 3.読み比べ 『情けは人の……』 依万智・『犬も歩けば棒に当たる』阿刀田高 (第3回レポート) 4.人間文化の理解 『バラと通貨はどう違う?』浜矩子 (第4回レポート) 5.人間関係を考える 『共同性の幻想』菅野仁 (第5回レポート) 6.自己を見つめる 『鑑としての他者』榎本博明 (第6回レポート)

学習方法
【レポート】 教科書の内容を、学習書を参考にして学習を進める。学習書の解説を丸写ししても正解にはならないこともある。 【スクーリング】 主にレポートで取り上げた作品の読解、解説、考察を行う。関連した別作品やプリント教材を使用することもある。 【放送視聴】NHK高校講座ロンのちから「誤った前提・危険な飛躍」を視聴し、論理を組み立てる上で重要な前提条件と飛躍のない組み立てを学習する。 【試験】レポートの学習内容を確認する問題を出題する。

評価方法
6回のレポート全てが合格し、授業に2時間（放送視聴レポート提出の場合は1時間）以上出席し、定期試験の得点が35点以上であることが単位認定の目安。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
関心・意欲・態度 言語文化への関心を深め、その能力向上を図ろうとする。	読む能力 口語の文章を正確に読み取り、解釈し、理解できる。	思考し、書く能力 場面に応じて、他者または自分の考えを理解し深め、適切な言葉で表現できる。	話す・聞く能力 場面に応じ聞き取り、話すことができる。	話す・聞く能力 場面に応じ聞き取り、話すことができる。

教科担当より一言
本文を丁寧に読むことを第一として、それからレポート、スクーリングに取り組んでほしい。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	6	2	1	1TVロンのちから	2023	112		

教科書	学習書	副教材
第一 論国712 高等学校 標準論理国語	第一学習社 標準論理国語 学習課題集	使用しない

学習目標
・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、物事を言葉を通して論理的、批判的に考える力、他者の言葉、考えを理解、比較し、自分の思いや考えを深め、更にはそれを書き表す意志、能力を養う。

学習内容
1,読解と考察 『新しい博物学』池内了 (第1回レポート) 2,言葉と思想 『SNSと意見の分極化』岡本真一郎 (第2回レポート) 3,世界観の変化 『クマを変えてしまう人間』千松信也 (第3回レポート) 4,言説と考察 『カブトムシから考える里山と物質循環』大倉茂 (第4回レポート) 5,自己を見つめる『経験の教えについて』森本啓郎 (第5回レポート) 6,自己と他者 『支え合うことの意味』 (第6回レポート)

学習方法
【レポート】 教科書の内容を、学習書を参考にして学習を進める。学習書の解説を丸写ししても正解にはならないこともある。 【スクーリング】 主にレポートで取り上げた作品の読解、解説、考察を行う。関連した別作品やプリント教材を使用することもある。 【放送視聴】NHK高校講座ロンのちから「類比論法」を視聴し、説得力のある説明方法を考察する。 【試験】レポートの学習内容を確認する問題を出題する。

評価方法
6回のレポート全てが合格し、授業に2時間（放送視聴レポート提出の場合は1時間）以上出席し、定期試験の得点が35点以上であることが単位認定の目安。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
関心・意欲・態度 言語文化への関心を深め、その能力向上を図ろうとする。	読む能力 口語の文章を正確に読み取り、解釈し、理解できる。	思考し、書く能力 場面に応じて、他者または自分の考えを理解し深め、適切な言葉で表現できる。	話す・聞く能力 場面に応じ聞き取り、話すことができる。	話し合う能力 他者の考えと自分の考えを比較し、調和し、互いに高め合うことができる。

教科担当より一言
本文を丁寧に読むことを第一として、それからレポート、スクーリングに取り組んでほしい。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	6	2	1	1Radio文学国語	2024	142.0		

教科書	学習書	副教材
第一 文国710 高等学校 標準文学国語	第一学習社 標準文学国語 学習課題集	使用しない

学習目標
言葉による見方、考え方を働かせ、我が国の言語文化に対する理解を深め、言葉による表現や情感を楽しんで、言語文化の担い手となる資質を涵養する。

学習内容
1.小説『デューク』 江國香織 (第1回レポート) 2.現代の詩『生命は』『そこにひとつの席が』『食事』 (第2回レポート) 3.小説『ナイン』 井上ひさし (第3回レポート) 4.随想『真珠の耳飾りの少女』 黒田マハ (第4回レポート) 5.小説『ころも』 夏目漱石 (第5回レポート) 6.戦争と文学(詩)『わたしが一番きれいだったとき』『死んだ男の残したものは』『春—イラクの少女シャミラに』(第6回レポート)

学習方法
【レポート】教科書の内容を、学習書を参考にして学習を進める。学習書の解説を丸写ししても正解にはならないこともある。 【スクーリング】主にレポートで取り上げた作品の読解、解説、考察を行う。関連した別作品やプリント教材を使用することもある。 【放送視聴】NHK高校講座文学国語「ナイン(2)」を視聴し、作中人物の感情を考え、理解する。 【試験】レポートの学習内容を確認する問題を出題する。

評価方法
6回のレポート全てが合格し、授業に2時間（放送視聴レポート提出の場合は1時間）以上出席し、定期試験の得点が35点以上であることが単位認定の目安。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
関心・意欲・態度 文学への関心を深め、その能力向上を図ろうとする。	読む能力 文章・詩を正確に読み取り、解釈し、理解できる。	思考し、書く能力 場合に応じて、筆者や登場人物の感情を理解し深め、適切な言葉で表現できる。	話す・聞く能力 場合に応じて、他人の解釈を聞き取り、話すことができる。	話し合う能力 他者の考えと自分の考えを比較し、調和し、互いに高め合うことができる。

教科担当より一言
本文を丁寧に読み、楽しむことを第一として、それからレポート、スクーリングに取り組んでほしい。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	6	2	1	1Radio文学国語	2024	143.0		

教科書	学習書	副教材
第一 文国710 高等学校 標準文学国語	第一学習社 標準文学国語 学習課題集	使用しない

学習目標
言葉による見方、考え方を働かせ、我が国の言語文化に対する理解を深め、言葉による表現や情感を楽しんで、言語文化の担い手となる資質を涵養する。

学習内容
1.現代小説『旅する本』 角田光代 (第1回レポート) 2.現代小説『富嶽百景』 中島京子 (第2回レポート) 3.近代小説『山月記』 中島敦 (第3回レポート) 4.近代小説『清兵衛と瓢箪』 志賀直哉 (第4回レポート) 5.近代詩『こころ』島崎藤村『よごれつちまつた悲しみに……』中原中也『永訣の朝』宮沢賢治 (第5回レポート) 6.現代小説『ひよこの眼』 山田詠美 (第6回レポート)

学習方法
【レポート】 教科書の内容を、学習書を参考にして学習を進める。学習書の解説を丸写ししても正解にはならないこともある。 【スクーリング】 主にレポートで取り上げた作品の読解、解説、考察を行う。関連した別作品やプリント教材を使用することもある。 【放送視聴】NHK高校講座文学国語「旅する本(2)」を視聴し、物語の進行と作中人物の感情を考え、理解する。 【試験】 レポートの学習内容を確認する問題を出題する。

評価方法
6回のレポート全てが合格し、授業に2時間（放送視聴レポート合格の場合は1時間）以上出席し、定期試験の得点が35点以上であることが単位認定の目安。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
関心・意欲・態度 文学への関心を深め、その能力向上を図ろうとする。	読む能力 文章・詩を正確に読み取り、解釈し、理解できる。	思考し、書く能力 場合に応じて、筆者や登場人物の感情を理解し深め、適切な言葉で表現できる。	話す・聞く能力 場合に応じて、他人の解釈を聞き取り、話すことができる。	話し合う能力 他者の考えと自分の考えを比較し、調和し、互いに高め合うことができる。

教科担当より一言
本文を丁寧に読み、楽しむことを第一として、それからレポート、スクーリングに取り組んでほしい。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	6	2	1	1Web国語表現	2023	113		

教科書		学習書		副教材
大修館 国語表現	国表701	大修館書店 国語表現 基礎練習ノート		使用しない

学習目標
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を養い、実社会で必要とされる有用な言語能力を育成する。

学習内容
1.言葉と表記 整った文章を書く (第1回レポート) 2.相手に応じた言葉遣い (第2回レポート) 3.分かりやすい文を書く 文のつなぎ方 (第3回レポート) 4.原稿用紙への書き方 (第4回レポート) 5.絵や写真を見て書く (第5回レポート) 6.小論文とは何か (第6回レポート)

学習方法
【レポート】 教科書の内容を、学習書を参考にして学習を進める。学習書の解説を丸写ししても正解にはならないこともある。 【スクーリング】 主にレポートで取り上げた言語表現の解説、考察を行う。関連した別作品やプリント教材を使用することもある。 【放送視聴】NHK高校講座国語表現「わかりやすい説明の方法」を視聴し、情報の整理、説明の順序など、「伝わる」説明を考察する。 【試験】 レポートの学習内容を確認する問題を出題する。

評価方法
6回のレポート全てが合格し、授業に2時間（放送視聴レポート提出の場合は1時間）以上出席し、定期試験の得点が35点以上であることが単位認定の目安。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
関心・意欲・態度 言葉遣いへの関心を深め、その能力向上を図ろうとする。	読む能力 口語の文章を正確に読み取り、解釈し、理解できる。	思考し、書く能力 場面に応じて、他者または自分の考えを理解し深め、適切な言葉で表現できる。	聞く能力 場面に応じ聞き取り、理解することができる。	話す能力 場面に応じて適切な言葉遣いで話すことができる。

教科担当より一言
副教材を積極的に使い、実践を重ねて、レポート、スクーリングに取り組んでほしい。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	6	2	1	1Web国語表現	2023	114		

教科書				学習書		副教材		
大修館 国表701 国語表現				大修館書店 国語表現 基礎練習ノート		使用しない		

学習目標
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を養い、実社会で必要とされる有用な言語能力を育成する。

学習内容
1.反論を想定して書く 課題文型小論文 (第1回レポート) 2.データ型小論文 テーマ型小論文 (第2回レポート) 3.レポートを書く 論文を書くために (第3回レポート) 4.自己を見つめて 効果的な自己PR (第4回レポート) 5.将来の自分を考えよう 志望理由書 自己推薦書 学修計画書 (第5回レポート) 6.通信文を書き分ける 電話のマナー メールのエチケット (第6回レポート)

学習方法
【レポート】 教科書の内容を、学習書を参考にして学習を進める。学習書の解説を丸写ししても正解にはならないこともある。 【スクーリング】 主にレポートで取り上げた言語表現の解説、考察を行う。関連した別作品やプリント教材を使用することもある。 【放送視聴】NHK高校講座国語表現「待遇表現」を視聴し、正しい敬語の使い方を確認する。 【試験】 レポートの学習内容を確認する問題を出題する。

評価方法
6回のレポート全てが合格し、授業に2時間（放送視聴レポート提出の場合は1時間）以上出席し、定期試験の得点が35点以上であることが単位認定の目安。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
関心・意欲・態度 言葉遣いへの関心を深め、その能力向上を図ろうとする。	読む能力 口語の文章を正確に読み取り、解釈し、理解できる。	思考し、書く能力 場面に応じて、他者または自分の考えを理解し深め、適切な言葉で表現できる。	聞く能力 場面に応じ聞き取り、理解することができる。	話す能力 場面に応じて適切な言葉遣いで話すことができる。

教科担当より一言
副教材を積極的に使い、実践を重ねて、レポート、スクーリングに取り組んでほしい。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	6	2	1	1Radio古典探究	2024	144.0		

教科書	学習書	副教材
第一 古探720 高等学校 標準古典探究	第一学習社 標準古典探究 学習課題集	使用しない

学習目標
我が国の伝統的な言語文化への理解を深め、知識を広げるとともに、先人のものの見方、感じ方、考え方を通して、自分の考えや他者の考えを理解する態度を養う。

学習内容
1.古文 説話 『平中が事』『文字一つの返し』 (第1回レポート) 2.漢文 故事・寓話 『助長』『嬰逆鱗』『画竜点睛』『推敲』『朝三暮四』 (第2回レポート) 3.古文 随筆 『徒然草』 (第3回レポート) 4.漢文 三国志 『水魚之交』『赤壁之戦』 (第4回レポート) 5.古文 物語 『竹取物語』 (第5回レポート) 6.漢文 漢詩 『鹿柴』『絶句』『峨眉山月歌』『春夜』『除夜寄弟妹』『遊山西村』 (第6回レポート)

学習方法
【レポート】 教科書の内容を、学習書を参考にして学習を進める。学習書の解説を丸写ししても正解にはならないこともある。 【スクーリング】 主にレポートで取り上げた作品の読解、解説、考察を行う。関連した別作品やプリント教材を使用することもある。 【放送視聴】NHK高校講座古典探究「文字一つの返し」を視聴し、時代背景や語法と共に係り結びを学び、古文に親しむ。 【試験】 レポートの学習内容を確認する問題を出題する。

評価方法
6回のレポート全てが合格し、授業に2時間（放送視聴レポート合格の場合は1時間）以上出席し、定期試験の得点が35点以上であることが単位認定の目安。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
関心・意欲・態度 古典への関心を深め、その能力向上を図ろうとする。	読む能力 古語、漢文を正確に読み取り、解釈し、理解できる。	思考し、書く能力 場合に応じて、筆者や登場人物の感情を理解し深め、適切な言葉で表現できる。	話す・聞く能力 場合に応じて、他人の解釈を聞き取り、話すことができる。	話し合う能力 他者の考えと自分の考えを比較し、調和し、互いに高め合うことができる。

教科担当より一言
「言語文化」の学習内容を理解した上で本文を丁寧に読み、それからレポート、スクーリングに取り組んでほしい。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	6	2	1	1Radio古典探究	2024	145.0		

教科書	学習書	副教材
第一 古探720 高等学校 標準古典探究	第一学習社 標準古典探究 学習課題集	使用しない

学習目標
我が国の伝統的な言語文化への理解を深め、知識を広げるとともに、先人のものの見方、感じ方、考え方を通して、自分の考えや他者の考えを理解する態度を養う。

学習内容
1.古文 御伽草子 『浦島太郎』 (第1回レポート) 2.漢文 逸話 『不顧後患』(説苑) 『不若人有其宝』(新序) 『宋人有嫁子者』(淮南子) (第2回レポート) 3.古文 物語 『源氏物語』 (第3回レポート) 4.漢文 史記 『鴻門之会』 『四面楚歌』 (第4回レポート) 5.古文 日記 『更級日記』 (第5回レポート) 6.漢文 諸家の思想 孟子 老子 莊子 韓非子 (第6回レポート)

学習方法
【レポート】 教科書の内容を、学習書を参考にして学習を進める。学習書の解説を丸写ししても正解にはならないこともある。 【スクーリング】 主にレポートで取り上げた作品の読解、解説、考察を行う。関連した別作品やプリント教材を使用することもある。 【放送視聴】NHK高校講座古典探究「よろづのことは頼むべからず」を視聴し、表現の特徴、作者の人間観を捉える。 【試験】 レポートの学習内容を確認する問題を出題する。

評価方法
6回のレポート全てが合格し、授業に2時間（放送視聴レポート合格の場合は1時間）以上出席し、定期試験の得点が35点以上であることが単位認定の目安。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
関心・意欲・態度 古典への関心を深め、その能力向上を図ろうとする。	読む能力 古語、漢文を正確に読み取り、解釈し、理解できる。	思考し、書く能力 場合に応じて、筆者や登場人物の感情を理解し深め、適切な言葉で表現できる。	話す・聞く能力 場合に応じて、他人の解釈を聞き取り、話すことができる。	話し合う能力 他者の考えと自分の考えを比較し、調和し、互いに高め合うことができる。

教科担当より一言
「言語文化」の学習内容を理解した上で本文を丁寧に読み、それからレポート、スクーリングに取り組んでほしい。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	6	2	2	なし	2022	15.1		

教科書	学習書	副教材
使用しない	明治書院 ポイント整理 ブラッシュアップ常用漢字三 訂版	新総合図説国語

学習目標
国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

学習内容
1.漢字の読み・書き、ことわざ・慣用句、ものの単位 (第1回レポート) 2.漢字の読み・書き、故事成語、漢文の返り点 (第2回レポート) 3.漢字の読み・書き、月の異名、旧国名 (第3回レポート) 4.漢字の読み・書き、小倉百人一首 (第4回レポート) 5.漢字の読み・書き、文学史の基礎知識 (第5回レポート) 6.漢字の読み・書き、対義語、現代用語 (第6回レポート)

学習方法
【レポート】 学習書の記述を参考にして学習を進める。 【スクーリング】 漢字や言葉の基礎知識、文学史等読解の基礎知識を確認する。学習書以外のプリント教材をしようすることもある。 【試験】 レポートの学習内容を確認する問題を出題する。

評価方法
6回のレポート全てが合格し、授業に2時間以上出席し、定期試験の得点が35点以上であることが単位認定の目安。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
関心・意欲・態度 国語で伝え合う力を高めると共に、言語文化への関心を深め、国語力の向上を図る。	話す・聞く 目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き、話し合つて自分の考えをまとめる。	書く 相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深める。	読む 文章を的確に読み取り、目的に応じて自分の考えを深め発展させる。	知識・理解 伝統的な言語文化の特徴や決まり、漢字などの知識を身に付けている。

教科担当より一言
国語の基本となる漢字、語彙や、基礎知識を確認・定着することが目的である。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	6	2	1	1TV地理総合	2022	25.4		

教科書	学習書	副教材
帝国書院 地総703 高等学校 新地理総合	使用しない	使用しない

学習目標
学習指導要領に則り、現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

学習内容
レポート第1回：地球上の位置と時差、地図の役割と種類、現代世界の国家と領域（NHK「地理総合」1回目～2回目に該当） レポート第2回：グローバル化する世界、生活文化の多様性、世界の地形と人々の生活、世界の気候と人々の生活（NHK「地理総合」3回目～7回目に該当） レポート第3回：世界の気候と人々の生活、世界の言語・宗教と人々の生活、歴史的背景と人々の生活（NHK「地理総合」8回目～9回目に該当） レポート第4回：世界の産業と人々の生活、複雑に絡み合う地球的課題、地球環境問題、資源・エネルギー問題（NHK「地理総合」10回目～13回目に該当） レポート第5回：人口問題、食料問題、都市・居住問題（NHK「地理総合」14回目～16回目に該当） レポート第6回：日本の自然環境、地震・津波と防災、火山災害と防災、気象災害と防災、自然災害への備え（NHK「地理総合」17回目～20回目に該当）

学習方法
【レポート】 教科書を熟読し、レポートに指示されている内容について学習し、レポートを作成する。また、各自の経験・感想等を求められている内容については、各自で考察し記載する。 【スクーリング】 特に大切な項目を解説することで、レポートを完成させるための参考となるようにする。 【放送視聴】 NHK高校講座地理総合をすべて視聴し、特に17回目～19回目の＜災害や防災・減災＞について知識を広め、備えをしよう。 【試験】レポートの学習内容がしっかり身についているか、確認するための問題を出題する。

評価方法
6回のレポートすべてが合格し（40点未満は不合格・再提出）授業に2時間（放送視聴レポート合格の場合は1時間）以上出席し、定期考査が35点以上であることが単位認定の目安となる。レポート・定期考査ともに100点満点であるが、レポート60％・定期考査40％の比率で総合して評定をつける。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
世界の生活文化の多様性、防災・地球的課題への取り組みの理解、地図や地理情報システムなどを効果的に使う技能。	概念などを活用した多面的・多角的な考察力、地理的な課題の解決に向けた構想力、考察・構想したことを効果的に説明する力。	よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及、解決しようとする態度。世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する態度。		

教科担当より一言
地理総合は単に地名や事象を暗記する科目ではなく、地球上に起きている様々な現象や問題を理解し、考える科目であることを身に付けることを期待している。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	6	2	1	1TV歴史総合	2022	17.4		

教科書	学習書	副教材
東京書籍 歴総701 新選 歴史総合	使用しない	使用しない

学習目標
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

学習内容
<課題レポートと教科書－NHK高校講座「歴史総合」放送回の対照表> レポート第1回：第2章「近代化と私たち」第1節～第2節（NHK「歴史総合」1回目～3回目に該当） レポート第2回：第2章「近代化と私たち」第3節～第4節（NHK「歴史総合」4回目～7回目に該当） レポート第3回：第3章「国際秩序の変化や大衆化と私たち」第1節～第2節（NHK「歴史総合」8回目～9回目に該当） レポート第4回：第3章「国際秩序の変化や大衆化と私たち」第3節～第4節（NHK「歴史総合」10回目～12回目に該当） レポート第5回：第4章「グローバル化と私たち」第1節～第2節（NHK「歴史総合」13回目～16回目に該当） レポート第6回：第4章「グローバル化と私たち」第3節～第4節（NHK「歴史総合」17回目～20回目に該当）

学習方法
【レポート】教科書の内容を資料を参考に理解し、学習を進める。特に記述の部分は教科書の内容を基に、自らの言葉で表現したい。 【スクーリング】レポートの内容の解説を中心に行い、より良いレポートを完成させるための参考としてほしい。 【放送視聴】NHK高校講座「歴史総合」をすべて視聴し、特に10回目～12回目の<第二次世界大戦へいたる道>について知識を深め、現代世界についてよりよく理解できるようにしよう。 【試験】レポートの学習内容がしっかり身についているか、確認するための問題を出題する。

評価方法
6回のレポートすべてが合格し（40点未満は不合格・再提出）授業に2時間（放送視聴レポート合格の場合は1時間）以上出席し、定期考査が35点以上であることが単位認定の目安となる。レポート・定期考査ともに100点満点であるが、レポート60%・定期考査40%の比率で総合して評定をつける。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史の理解、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能。	概念などを活用した多面的・多角的な考察力、歴史に見られる課題の把握、解決を視野に入れた構想力、考察、構想したことの効果的な説明力。	見通しを持って学習に取り組もうとしている。よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりを踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。		

教科担当より一言
新しい「歴史総合」によって、近現代の歴史を多角的にとらえるとともに、より良い未来を構想するための豊かな想像力を身につけましょう。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	6	2	1	1Radio日本史探究	2023	115		

教科書	学習書	副教材
山川 日探706 高校日本史	使用しない	使用しない

学習目標
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを旨とする。

学習内容
レポート第1回：古代社会の形成（日本文化のはじまり、農耕の開始、ヤマト政権と古墳） （NHK「日本史探究」1回目～3回目に該当） レポート第2回：律令国家の形成と貴族政治の展開（律令国家の成立、摂関政治、文化） （NHK「日本史探究」4回目～7回目に該当） レポート第3回：武家社会の形成（荘園の発達と武士の台頭、院政と平氏政権、鎌倉幕府） （NHK「日本史探究」8回目～12回目に該当） レポート第4回：武家社会の成長（鎌倉文化、室町幕府の成立、室町文化、戦国の動乱） （NHK「日本史探究」13回目～16回目に該当） レポート第5回：幕藩体制の成立（織豊政権、江戸幕府の成立、江戸初期の外交と文化） （NHK「日本史探究」17回目～20回目に該当） レポート第6回：幕藩体制の展開と動揺（幕府の安定、幕政改革、文化） （NHK「日本史探究」21回目～25回目に該当）

学習方法
【レポート】教科書の内容を資料を参考に理解し、学習を進める。特に記述の部分は教科書の内容を基に、自らの言葉で表現したい。 【スクーリング】レポートの内容の解説を中心に言い、より良いレポートを完成させるための参考としてほしい。 【放送視聴】NHK高校講座「日本史探究」をすべて視聴し、特に20回目～22回目の＜江戸幕府＞について理解を深め、文明としての江戸システムについて理解を深めよう。 【試験】レポートの学習内容がしっかり身についているか、確認するための問題を出題する。

評価方法
6回のレポートすべてが合格し（40点未満は不合格・再提出）授業に2時間（放送視聴レポート合格の場合は1時間）以上出席し、定期考査が35点以上であることが単位認定の目安となる。レポート・定期考査ともに100点満点であるが、レポート60％・定期考査40％の比率で総合して評価をつける。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的にとらえる理解力、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能	概念などを活用しての多面的多角的な考察力、歴史的課題の把握・解決を視野に入れた構想力	よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度、他国や他国の文化を尊重することの大切さの自覚		

教科担当より一言
日本史、とくに旧石器・縄文時代から江戸時代に至る「前近代」の歴史を、それぞれの時代を生きた人々の社会・経済・文化などにも留意しながら、大局的な政治の流れを中心に把握、理解することを心がけましょう。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	6	2	1	1Radio日本史探究	2023	116		

教科書	学習書	副教材
山川 日探706 高校日本史	使用しない	使用しない

学習目標
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを旨とする。

学習内容
レポート第1回：近世から近代へ（開国とその影響、幕府の滅亡と新政府の発足） （NHK「日本史探究」26回目～27回目に該当） レポート第2回：近代国家の成立、近代国家の展開と国際関係（明治維新、立憲国家の成立、大陸政策の展開） （NHK「日本史探究」28回目～32回目に該当） レポート第3回：近代国家の展開と国際関係、近代の産業と生活（第一次世界大戦、ワシントン体制、近代産業） （NHK「日本史探究」33回目～35回目に該当） レポート第4回：近代の産業と生活、恐慌と第二次世界大戦（近代の文化、大衆文化、恐慌の時代） （NHK「日本史探究」36回目～37回目に該当） レポート第5回：恐慌と第二次世界大戦（軍部の台頭、第二次世界大戦）（NHK「日本史探究」38回目に該当） レポート第6回：現代の世界と日本（占領下の改革と主権の回復、55年体制と高度経済成長、現代の情勢） （NHK「日本史探究」39回目～42回目に該当）

学習方法
【レポート】教科書の内容を資料を参考に理解し、学習を進める。特に記述の部分は教科書の内容を基に、自らの言葉で表現したい。 【スクーリング】レポートの内容の解説を中心に行い、より良いレポートを完成させるための参考としてほしい。 【放送視聴】NHK高校講座「日本史探究」をすべて視聴し、特に36回目～38回目の＜日本が戦争へと歩んだ道＞について理解を深め、混迷する現代世界についてよりよく理解できるようにしよう。 【試験】レポートの学習内容がしっかり身についているか、確認するための問題を出題する。

評価方法
6回のレポートすべてが合格し（40点未満は不合格・再提出）授業に2時間（放送視聴レポート合格の場合は1時間）以上出席し、定期考査が35点以上であることが単位認定の目安となる。レポート・定期考査ともに100点満点であるが、レポート60％・定期考査40％の比率で総合して評定をつける。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的にとらえる理解力、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能	概念などを活用しての多面的多角的な考察力、歴史的課題の把握・解決を視野に入れた構想力	よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度、他国や他国の文化を尊重することの大切さの自覚		

教科担当より一言
日本史、とくに近代・現代の歴史を、それぞれの時代を生きた人々の社会・経済・文化などにも留意しながら、大局的な政治の流れを中心に把握、理解していくことを心がけましょう。

シラバス

13 公民 133011 公共
指導要録科目名 公共

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	6	2	1	1TV公共	2022	28.4		

教科書	学習書	副教材
東京書籍 公共701 公共	使用しない	使用しない

学習目標
現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養います。

学習内容
レポート第1回：第1部第1章「公共的な空間を作る私たち」～第2章「公共的な空間における人間としての在り方生き方」 (NHK「公共」1回目～2回目に該当) レポート第2回：第1部第3章「公共的な空間における基本原理」～第2部第1章「民主政治と私たち」 (NHK「公共」3回目～5回目に該当) レポート第3回：第2部第2章「方の働きと私たち」 (NHK「公共」6回目～8回目に該当) レポート第4回：第2部第3章「経済社会で生きる私たち」～第2部第3章「財政の課題」 (NHK「公共」9回目～11回目に該当) レポート第5回：第2部第3章「社会保障」～第2部第5章「国際連合の役割」 (NHK「公共」12回目～14回目に該当) レポート第6回：第2部第5章「国際社会と平和主義」～第3部「持続可能な社会づくりに参画するために」 (NHK「公共」15回目～20回目に該当)

学習方法
【レポート】 教科書の内容を資料を参考に理解し、学習を進める。特に記述の部分は教科書の内容を基に、自らの言葉で表現したい。 【スクーリング】 レポートの内容の解説を中心に行い、より良いレポートを完成させるための参考としてほしい。 【放送視聴】 NHK高校講座「公共」をすべて視聴し、特に18回目～20回目の＜探究活動①～③＞について理解を深め、今後の「総合的探究」に活かしていくとともに、公共的空間における民主制を担うための方策を学びたい。 【試験】レポートの学習内容がしっかり身についているか、確認するための問題を出題する。

評価方法
6回のレポートすべてが合格し（40点未満は不合格・再提出）授業に2時間（放送視聴レポート合格の場合は1時間）以上出席し、定期考査が35点以上であることが単位認定の目安となる。レポート・定期考査ともに100点満点であるが、レポート60%・定期考査40%の比率で総合して評定をつける。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための概念や理論の理解、公共的主体として活動するための情報の適切かつ効果的な調べ。	現実社会の諸課題の解決に向けて、公共的な空間における基本的原理を活用した、多面的・多角的な考察、公正な判断力、合意形成や社会参画を視野に入れた構想力。	公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。知識・技能の獲得、思考力、判断力、表現力等を身に付ける粘り強い取り組み。		

教科担当より一言
新しい「公共」によって、社会の在り方を多角的にとらえ、よりよい社会の実現に向けて豊かな想像力を身に付けていきたいと思います。

シラバス

13 公民 133021 倫理
指導要録科目名 倫理

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	6	2	1	1Radio倫理	2023	117		

教科書	学習書	副教材
東京書籍 倫理701 倫理	使用しない	使用しない

学習目標
学習指導要領に則り、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者と共に生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

学習内容
レポート第1回：人間としての自覚（人間とは何か、ギリシャの思想）（NHK「倫理」1回目～8回目に該当） レポート第2回：人間としての自覚（宗教と社会、芸術と人間）（NHK「倫理」9回目～15回目に該当） レポート第3回：近代と人間尊重の精神、社会変革の思想（NHK「倫理」16回目～21回目に該当） レポート第4回：理念への疑念、現代思想の展開、他者・自然とのかかわり（NHK「倫理」22回目～27回目に該当） レポート第5回：日本人の精神風土、仏教や儒教と日本人の思想形成、国学、庶民の思想、西洋思想と日本人の近代化（NHK「倫理」28回目～34回目に該当） レポート第6回：戦後思想の動向、現代の諸課題と倫理（NHK「倫理」35回目～42回目に該当）

学習方法
【レポート】 教科書の内容を資料を参考に理解し、学習を進める。特に記述の部分は教科書の内容を基に、自らの言葉で表現したい。 【スクーリング】 レポートの内容の解説を中心に行い、より良いレポートを完成させるための参考としてほしい。 【放送視聴】 NHK高校講座「倫理」をすべて視聴し、特に10回目～12回目の＜世界の3大宗教＞について理解を深め、混迷する現代世界についてよりよく理解できるようにしよう。 【試験】レポートの学習内容がしっかり身についているか、確認するための問題を出題する。

評価方法
6回のレポートすべてが合格し（40点未満は不合格・再提出）授業に2時間（放送視聴レポート合格の場合は1時間）以上出席し、定期考査が35点以上であることが単位認定の目安となる。レポート・定期考査ともに100点満点であるが、レポート60%・定期考査40%の比率で総合して評価をつける。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための概念や理論について理解、倫理的主体として活動するための情報の適切かつ効果的な調べ。	公共的な空間における基本的原理を活用した、多面的・多角的な考察力、公正な判断力、合意形成や社会参画を視野に入れた構想力。	公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けようとしている。		

教科担当より一言
身近な問題としてとらえにくい倫理の分野であるが、青年期の課題を導入として自分に関わる課題であることを認識し、さまざまな思想や文化などについて幅広く学んでいけるようにしたい。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	6	2	1	1Radio政治・経済	2023	118		

教科書	学習書	副教材
東京書籍 政経701 政治・経済	使用しない	使用しない

学習目標
学習指導要領に則り、広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

学習内容
レポート第1回：民主政治の基本原則・日本国憲法の基本原則（NHK「政治・経済」1回目～6回目に該当） レポート第2回：日本国憲法の平和主義・日本の政治機構・現代政治の特質と課題（NHK「政治・経済」7回目～13回目に該当） レポート第3回：現代の資本主義経済・現代経済のしくみ（NHK「政治・経済」18回目～24回目に該当） レポート第4回：日本経済の発展と産業構造の変化・福祉社会と日本経済の課題（NHK「政治・経済」25回目～30回目に該当） レポート第5回：雇用と労働問題・現代の国際政治（NHK「政治・経済」31・32回目および14～16回目に該当） レポート第6回：国民経済と国際経済・世界経済の現状と課題・国際社会の諸課題（NHK「政治・経済」35回目～42回目および17回目に該当）

学習方法
【レポート】 教科書の内容を資料を参考に理解し、学習を進める。特に記述の部分は教科書の内容を基に、自らの言葉で表現したい。 【スクーリング】 レポートの範囲の解説を中心に行い、より良いレポートを完成させるための参考としてほしい。 【放送視聴】 NHK高校講座「政治・経済」をすべて視聴し、特に33回目～35回目の＜国際貿易と南北問題＞について理解を深め、混乱する現代世界についてよりよく理解できるようにしよう。

評価方法
6回のレポートすべてが合格し（40点未満は不合格・再提出）授業に2時間（放送視聴レポート合格の場合は1時間）以上出席し、定期考査が35点以上であることが単位認定の目安となる。レポート・定期考査ともに100点満点であるが、レポート60%・定期考査40%の比率で総合して評価をつける。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論についての理解、公民として活動するための情報の適切かつ効果的な調べ。	選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用した、多面的・多角的な考察・公正な判断力、合意形成や社会参画を視野に入れた構想力。	公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。知識・技能の獲得、思考力、判断力、表現力等を身に付ける粘り強い取り組み。		

教科担当より一言
教科書に書いてある単なる知識ではなく、政治や経済は自分の身の回りで起きている事象であることを認識し、常に関心をもって考えることができるようにしたい。

シラバス

単位数	法定 Re 数	法定 Sc 数	必要 Sc 数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	6	2	1	1TV 数学 I	2022	34.4		

教科書	学習書	副教材
数研出版 数 I 716 新 高校の数学 I	使用しない	使用しない

学習目標
数や式、二次関数について理解させ、基礎的な知識の習得と技術の習熟を図るとともに、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにし、それらを活用する態度を育てる。

学習内容
1. 数と式「整式、展開」 (第1回レポート) 2. 数と式「因数分解、平方根」 (第2回レポート) 3. 数と式「実数、1次方程式、1次不等式」 (第3回レポート) 4. 2次関数「1次関数のグラフ、2次関数のグラフ」 (第4回レポート) 5. 2次関数「2次関数の最大値、最小値」 (第5回レポート) 6. 2次関数「グラフと2次方程式、グラフと2次不等式」 (第6回レポート)

学習方法
○レポート 教科書を理解し、学習を進めてください。例題などをしっかり理解し、問題に取り組んでください。 ○スクーリング レポート範囲の解説を行います。レポートを完成させるための大きな助けとなります。 ○放送視聴 NHK 高校講座の「因数分解」「ルートの基本の計算」「2次関数の頂点」の3つを視聴し、基本をしっかりと確認し問題に取り組んでください。 ○試験 レポートの学習内容を理解しているか確認する問題を出題します。

評価方法
6回のレポートすべてが合格し、授業に2時間(放送視聴レポート合格の場合は1時間)以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
[知識・技能] 数学における基本的な概念や原理・法則などを体系的に理解している。 事象を数式化したり、数学的に解釈したり表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	[思考・判断・表現] 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	[主体的に学習に取り組む態度] 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。		

教科担当より一言
定義・定理・性質をしっかり理解する。教科書の例題もなぜ成り立つのかしっかり考えること。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	6	2	1	1TV数学 I	2022	35.4		

教科書	学習書	副教材
数研出版 数 I 716 新 高校の数学 I	使用しない	使用しない

学習目標
図形と計量、データの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技術の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

学習内容
1.図形と計量「三角比」 (第1回レポート) 2.図形と計量「三角比の利用」 (第2回レポート) 3.図形と計量「三角比の拡張」 (第3回レポート) 4.図形と計量「三角形への応用」 (第4回レポート) 5.集合と命題 (第5回レポート) 6.データの分析 (第6回レポート)

学習方法
○レポート 教科書を理解し、学習を進めてください。例題などをしっかり理解し、問題に取り組んでください。 ○スクーリング レポート範囲の解説を行います。レポートを完成させるための大きな助けとなります。 ○放送視聴 NHK高校講座の「三角比の相互関係」「余弦定理」「分散、標準偏差」の3つを視聴し、基本を確認し問題に取り組んでください。 ○試験 レポートの学習内容を理解しているか確認する問題を出題します。

評価方法
6回のレポートすべてが合格し、授業に2時間（放送視聴レポート合格の場合は1時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
[知識・技能] 数学における基本的な概念や原理・法則などを体系的に理解している。 事象を数値化したり、数学的に解釈したり表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	[思考・判断・表現] 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	[主体的に学習に取り組む態度] 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。		

教科担当より一言
定義・定理・性質をしっかり理解する。教科書の例題もなぜ成り立つのかしっかり考えること。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	6	2	2	なし	2023	119		

教科書	学習書	副教材
数研出版 数Ⅱ719 新 高校の数学Ⅱ	使用しない	使用しない

学習目標
いろいろな式、図形と方程式の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。

学習内容
1.複素数と方程式「式の計算」 (第1回レポート) 2.複素数と方程式「2次方程式」 (第2回レポート) 3.複素数と方程式「因数定理」「高次方程式」 (第3回レポート) 4.図形と方程式「座標と直線の方程式」 (第4回レポート) 5.図形と方程式「円の方程式」 (第5回レポート) 6.図形と方程式「領域」 (第6回レポート)

学習方法
○レポート 教科書を理解し、学習を進めてください。例題などをしっかり理解し、問題に取り組むこと。 ○スクーリング レポート範囲の解説を行います。レポートを完成させるための大きな助けとなります。 ○試験 レポートの学習内容を理解しているか確認する問題を出題します。

評価方法
6回のレポートすべてが合格し、授業に2時間以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
[知識・技能] 数学における基本的な概念や原理・法則などを体系的に理解している。 事象を数式化したり、数学的に解釈したり表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	[思考・判断・表現] 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	[主体的に学習に取り組む態度] 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしていたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしていたりしている。		

教科担当より一言
定義・定理・性質をしっかり理解する。定理の証明なども理解するとより理解が進みます。 教科書の例題もなぜ成り立つのかしっかり考えること。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	6	2	2	なし	2023	120		

教科書	学習書	副教材
数研出版 数Ⅱ 719 新 高校の数学Ⅱ	使用しない	使用しない

学習目標
指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数 学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。

学習内容
1.三角関数「三角関数」 (第1回レポート) 2.三角関数「加法定理」 (第2回レポート) 3.指数関数と対数関数「指数関数」 (第3回レポート) 4.指数関数と対数関数「対数関数」 (第4回レポート) 5.微分と積分「微分係数と導関数」 (第5回レポート) 6.微分と積分「積分」 (第6回レポート)

学習方法
○レポート 教科書を理解し、学習を進めてください。例題などをしっかり理解し、問題に取り組むこと。 ○スクーリング レポート範囲の解説を行います。レポートを完成させるための大きな助けとなります。 ○試験 レポートの学習内容を理解しているか確認する問題を出題します。

評価方法
6回のレポートすべてが合格し、授業に2時間以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
[知識・技能] 数学における基本的な概念や原理・法則な どを体系的に理解している。 事象を数式化したり、数学的に解釈したり 表現・処理したりすることに関する技能を 身に付けている。	[思考・判断・表現] 数学を活用して事象を論理的に考察する 力、事象の本質や他の事象との関係を認識 し統合的・発展的に考察する力、数学的な 表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表 現する力を身に付けている。	[主体的に学習に取り組む態度] 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しよう としたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判 断したりしようとしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評 価・改善しようとしていたりしている。		

教科担当より一言
定義・定理・性質をしっかり理解する。定理の証明なども理解するとより理解が進みます。 教科書の例題もなぜ成り立つのかしっかり考えること。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	6	2	2	なし	2024	146.0		

教科書	学習書	副教材
数研出版 数Ⅲ708 数学Ⅲ	数研 4Steps 数学Ⅲ 問題集	4Steps 数学Ⅲ 解答集

学習目標
極限、微分法についての概念や原則・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学的に解釈、考察したりする技能を身に付ける。また、数学の良さを認識し、積極的に数学を活用しようとする態度や問題解決の過程を振り返り、評価・改善したりする態度や創造性の基礎を養う。

学習内容
1. 関数「分数関数・無理関数・逆関数」 (第1回レポート) 2. 極限「数列の極限・無限等比数列」 (第2回レポート) 3. 極限「無限等比級数・関数の極限」 (第3回レポート) 4. 極限「三角関数と極限・関数の連続性」 (第4回レポート) 5. 微分法「導関数の性質・様々な導関数の微分法」 (第5回レポート) 6. 微分法「いろいろな関数の導関数」 (第6回レポート)

学習方法
○レポート 教科書を理解し、学習を進めてください。例題などをしっかり理解し、問題に取り組むこと。 ○スクーリング レポート範囲の解説を行います。レポートを完成させるための大きな助けとなります。 ○試験 レポートの学習内容を理解しているか確認する問題を出题します。

評価方法
6回のレポートすべてが合格し、授業に2時間以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
数学における基本的な概念や原理・法則などを体系的に理解している。 事象を数式化したり、数学的に解釈したり表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	[主体的に学習に取り組む態度] 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。		

教科担当より一言
定義・定理・性質をしっかり理解する。定理の証明なども理解するとより理解が進みます。 教科書の例題もなぜ成り立つのかしっかり考えること。また、付属の問題集を解いて慣れること。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	6	2	2	なし	2024	147.0		

教科書		学習書		副教材	
数研出版 数学Ⅲ	数Ⅲ708	数研 4Steps 数学Ⅲ 問題集		4Steps 数学Ⅲ 解答集	

学習目標
微分法、積分法についての概念や原則・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学的に解釈、考察したりする技能を身に付ける。また、数学の良さを認識し、積極的に数学を活用しようとする態度や問題解決の過程を振り返り、評価・改善したりする態度や創造性の基礎を養う。

学習内容
1. 微分法「接線と法線・平均値の定理・関数の値の変化」(第1回レポート) 2. 微分法「関数の最大と最小、グラフ・方程式、不等式への応用・速度と加速度」(第2回レポート) 3. 積分法「不定積分・置換積分法・部分積分法」(第3回レポート) 4. 積分法「定積分・定積分の置換積分法、部分積分法」(第4回レポート) 5. 微分法「定積分の様々な問題・面積」(第5回レポート) 6. 微分法「体積・曲線の長さ・速度と道のり」(第6回レポート)

学習方法
○レポート 教科書を理解し、学習を進めてください。例題などをしっかり理解し、問題に取り組むこと。 ○スクーリング レポート範囲の解説を行います。レポートを完成させるための大きな助けとなります。 ○試験 レポートの学習内容を理解しているか確認する問題を出题します。

評価方法
6回のレポートすべてが合格し、授業に2時間以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
数学における基本的な概念や原理・法則などを体系的に理解している。 事象を数式化したり、数学的に解釈したり表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	[主体的に学習に取り組む態度] 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。		

教科担当より一言
定義・定理・性質をしっかり理解する。定理の証明なども理解するとより理解が進みます。 教科書の例題もなぜ成り立つのかしっかり考えること。また、付属の問題集を解いて慣れること。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	6	2	2	なし	2022	43.4		

教科書	学習書	副教材
数研出版 数A716 新 高校の数学A	使用しない	使用しない

学習目標
場合の数と確率、図形の性質を中心に理解させ、基礎的な知識の習得と技術の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学の良さを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

学習内容
1.場合の数「集合、順列」 (第1回レポート) 2.場合の数「組合せ」 (第2回レポート) 3.確率「確率の計算」 (第3回レポート) 4.図形の性質「角の二等分線と線分の比、三角形の外心、内心、重心」 (第4回レポート) 5.図形の性質「円周角の定理、方べきの定理」 (第5回レポート) 6.数学と人間の活動 (第6回レポート)

学習方法
○レポート 教科書を理解し、学習を進めてください。例題などをしっかり理解し、問題に取り組んでください。 ○スクーリング レポート範囲の解説を行います。レポートを完成させるための大きな助けとなります。 ○試験 レポートの学習内容を理解しているか確認する問題を出題します。

評価方法
6回のレポートすべてが合格し、授業に2時間以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
[知識・技能] 数学における基本的な概念や原理・法則などを体系的に理解している。 事象を数値化したり、数学的に解釈したり表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	[思考・判断・表現] 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	[主体的に学習に取り組む態度] 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしていたりしている。		

教科担当より一言
定義・定理・性質をしっかり理解する。定理の証明なども理解するとより理解が進みます。 教科書の例題もなぜ成り立つのかしっかり考えること。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	6	2	2	なし	2023	121		

教科書	学習書	副教材
数研出版 数B714 新 高校の数学B	使用しない	使用しない

学習目標
確率分布、数列又はベクトルについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。

学習内容
1.数列とその和「等差数列」「等比数列」 (第1回レポート) 2.数列とその和「和の記号 Σ 」「階差数列」 (第2回レポート) 3.漸化式と数学的帰納法「漸化式」「数学的帰納法」 (第3回レポート) 4.確率分布「確率変数と確率分布」「二項分布」 (第4回レポート) 5.確率分布「確率密度関数」「二項分布と正規分布」 (第5回レポート) 6.統計的な推測「母集団の標本」「母平均の検定」 (第6回レポート)

学習方法
○レポート 教科書を理解し、学習を進めてください。例題などをしっかり理解し、問題に取り組むこと。 ○スクーリング レポート範囲の解説を行います。レポートを完成させるための大きな助けとなります。 ○試験 レポートの学習内容を理解しているか確認する問題を出題します。

評価方法
6回のレポートすべてが合格し、授業に2時間以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
[知識・技能] 数学における基本的な概念や原理・法則などを体系的に理解している。 事象を数式化したり、数学的に解釈したり表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	[思考・判断・表現] 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	[主体的に学習に取り組む態度] 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしていたりしている。		

教科担当より一言
定義・定理・性質をしっかり理解する。定理の証明なども理解するとより理解が進みます。 教科書の例題もなぜ成り立つのかしっかり考えること。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	6	2	2	なし	2024	148.0		

教科書	学習書	副教材
数研出版 数C711 最新 数学C	使用しない	使用しない

学習目標
ベクトル，平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに大きさと向きをもった量に着目し，それらの性質を統合的に・発展的に考察する力などを養う。また，数学のよさを認識するとともに，それらを活用する態度や創造性の基礎を養う。

学習内容
1.ベクトル「ベクトルの和・差」「ベクトルの内積」 (第1回レポート) 2.ベクトルと平面図形「位置ベクトル」「ベクトル方程式」 (第2回レポート) 3.空間のベクトル「ベクトルの内積」「位置ベクトル」 (第3回レポート) 4.複素数平面「複素数の極形式」「ド・モアブルの定理」 (第4回レポート) 5.式と曲線「放物線」「双曲線」 (第5回レポート) 6.媒介変数表示と極座標「極座標と極方程式」 (第6回レポート)

学習方法
○レポート 教科書を理解し、学習を進めてください。例題などをしっかり理解し、問題に取り組むこと。 ○スクーリング レポート範囲の解説を行います。レポートを完成させるための大きな助けとなります。 ○試験 レポートの学習内容を理解しているか確認する問題を出題します

評価方法
6回のレポートすべてが合格し、授業に2時間以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
[知識・技能] 数学における基本的な概念や原理・法則などを体系的に理解している。 事象を数式化したり，数学的に解釈したり表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	[思考・判断・表現] 数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	[主体的に学習に取り組む態度] 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善しようとしたりしている。		

教科担当より一言
定義・定理・性質をしっかり理解する。定理の証明なども理解するとより理解が進みます。 教科書の例題もなぜ成り立つのかしっかり考えること。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	6	2	2	なし	2022	46.4		

教科書	学習書	副教材
使用しない	NHK出版 数学 I 入門(新課程)	使用しない

学習目標
中学校の内容を復習し、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を再育成することを目指す。また、高等学校の数学につながることを意識させる。

学習内容
1.整数 (第1回レポート) 2.正負の数 (第2回レポート) 3.小数、分数 (第3回レポート) 4.計算の利用「割合、速さ、概数」 (第4回レポート) 5.数と式「文字と式」 (第5回レポート) 6.数と式「展開、因数分解」 (第6回レポート)

学習方法
○レポート 教科書を理解し、学習を進めてください。例題などをしっかり理解し、問題に取り組んでください。 ○スクーリング レポート範囲の解説を行います。レポートを完成させるための大きな助けとなります。 ○試験 レポートの学習内容を理解しているか確認する問題を出題します。

評価方法
6回のレポートすべてが合格し、授業に2時間以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
[知識・技能] 数学における基本的な概念や原理・法則などを体系的に理解している。 事象を数値化したり、数学的に解釈したり表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	[思考・判断・表現] 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	[主体的に学習に取り組む態度] 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしていたりしている。		

教科担当より一言
中学校の数学の総復習になります。苦手な分野に重点を置き、定義・定理・性質をしっかり理解するようにしましょう。 また、問題を解いていく中で計算する力を養いましょう。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	6	2	2	なし	2022	47.4		

教科書	学習書	副教材
使用しない	NHK出版 数学 I 入門(新課程)	使用しない

学習目標
中学校の内容を復習し、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を再育成することを目指す。また、高等学校の数学につながることを意識させる。

学習内容
1.数と式「平方根」 (第1回レポート) 2.数と式「1次方程式、2次方程式」 (第2回レポート) 3.関数「1次関数」 (第3回レポート) 4.関数「2次関数」 (第4回レポート) 5.平面図形「相似、三平方の定理」 (第5回レポート) 6.データの分析 (第6回レポート)

学習方法
○レポート 教科書を理解し、学習を進めてください。例題などをしっかり理解し、問題に取り組んでください。 ○スクーリング レポート範囲の解説を行います。レポートを完成させるための大きな助けとなります。 ○試験 レポートの学習内容を理解しているか確認する問題を出題します。

評価方法
6回のレポートすべてが合格し、授業に2時間以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
[知識・技能] 数学における基本的な概念や原理・法則などを体系的に理解している。 事象を数値化したり、数学的に解釈したり表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	[思考・判断・表現] 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	[主体的に学習に取り組む態度] 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしていたりしている。		

教科担当より一言
中学校の数学の総復習になります。苦手な分野に重点を置き、定義・定理・性質をしっかり理解するようにしましょう。 また、問題を解いていく中で計算する力を養いましょう。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2TV科学と人間生活	2022	52.4		

教科書	学習書	副教材
第一学習社 科人705 高等学校 科学と人間生活	使用しない	使用しない

学習目標
自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な物事・現象に関する観察等をして理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高め、今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解させる。

学習内容
第Ⅳ章 地球や宇宙の化学 第2節 太陽と地球（第1回レポート） 第Ⅱ章 生命の科学 第2節 微生物とその利用（第2回レポート） 第Ⅰ章 物質の科学 第1節 材料とその利用（第3回レポート）

学習方法
[レポート] 教科書・図表を参考にし、学習を進めてください。多様な生物においても、共通にみられる構造や性質について着目し学習しましょう。 [スクーリング] レポート範囲に関する解説をします。理解を深めてください。 [放送視聴] NHK高校講座「科学と人間生活」を全て視聴し、特に「2回 微生物との共生」「3回 ノーベル賞学者 大村 智」「5回 病との闘い」「18回 太陽が動かす大気と水」「19回 世界の絶景ポイント」「20回 地震と津波」はしっかりと視聴し、理解を深めてください。 [定期試験] レポートの学習内容を確認します。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
関心・意欲・態度 科学への興味関心探求 心を持って取り組んでいるか	思考・判断 学習の中から科学的思考・判断力を身に付けているか	観察・実験の技能・表現 得られた結果を表現する力を身につけられているか	知識・理解 科学的内容が身についているか	

教科担当より一言
日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもち、その法則性について考えてみましょう。疑問に思ったことは、調べ学習によりさらに深めてみましょう。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2TV科学と人間生活	2022	53.4		

教科書	学習書	副教材
第一学習社 科人705 高等学校 科学と人間生活	使用しない	使用しない

学習目標
自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な物事・現象に関する観察等をして理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高め、今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解させる。

学習内容
第Ⅰ章 物質の科学 第Ⅱ節 衣料と食品（第1回レポート・第2回レポート） 第Ⅲ部 光や熱の科学 第Ⅰ節 熱の性質とその利用（第3回レポート）

学習方法
[レポート] 教科書・図表を参考にし、学習を進めてください。多様な生物においても、共通にみられる構造や性質について着目し学習しましょう。 [スクーリング] レポート範囲に関する解説をします。理解を深めてください。 [放送視聴] NHK高校講座「科学と人間生活」を全て視聴し、特に「7回 リサイクル」「8回 スマートフォンのメカニズム」「9回 プラスチックの科学」「14回 エアコンのメカニズム」「15回 発電のしくみ」「16回 SDGs と物理」はしっかりと視聴し、理解を深めてください。 [定期試験] レポートの学習内容を確認します。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
関心・意欲・態度 科学への興味関心探求心を持って取り組んでいるか	思考・判断 学習の中から科学的思考・判断力を身に付けているか	観察・実験の技能・表現 得られた結果を表現する力を身につけられているか	知識・理解 科学的内容が身についているか	

教科担当より一言
日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもち、その法則性について考えてみましょう。疑問に思ったことは、調べ学習によりさらに深めてみましょう。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2TV物理基礎	2022	54.4		

教科書	学習書	副教材
東京書籍 物基702 新編物理基礎	使用しない	使用しない

学習目標
目的意識をもって観察などを行い、物理学的に探究する能力と態度を身につける。 物理学が日常生活や社会とどのように関連しているかを知り、物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高める。

学習内容
1 直線運動の世界 物体の運動を測定し、その運動を変位－時間のグラフや、速度－時間のグラフで表すことなどを通して、変位や速度などの物体の運動の基本的な表し方について理解する。（第1回レポート） 2 力と運動の法則 物体にはたらく様々な力を見抜いてベクトルで表す方法を身につけるとともに、それらの力がつり合う条件を見いだせるようになる。（第2回レポート） 3 仕事とエネルギー エネルギーを測るものさしとしての仕事の定義、及び仕事の原理と仕事率について理解する。 仕事をする能力としての運動エネルギーと位置エネルギーの表し方について理解する。（第3回レポート）

学習方法
[レポート]教科書全体をまんべんなく学習して、例題を参考にしながら進めてください。 [スクーリング] レポート範囲に関する解説をします。章末演習問題を解き、理解を深めてください。 [放送視聴]NHK高校講座物理基礎を全て視聴し、特に「1 運動の表し方」～「19 力学的エネルギーの保存」はしっかりと視聴し、理解を深めてください。 [定期試験]レポートの学習内容を確認します。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
関心・意欲・態度 日常の運動から、速さ、時間、進む距離についての関係に興味をもち、相対速度の意味や使い方を理解する。	思考・判断・表現 加速度の意味・表し方、またこれらはグラフ上ではどのように示されるかを正しく理解し、それをもとに物体の運動のようすを考えることができる。	観察・実験の技能 見ること、触ることができない「力」に対して、どのようにして力の存在がわかるのか、また力にはどのような種類があるのかについて考えようとしている。	知識・理解 物体が力を受けるとき（あるいは受けないとき）、運動状態はどのようになるかを理解する。	

教科担当より一言
教科書の図、NHK高校講座の動画を活用して自然現象をイメージできるようにしてください。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2TV物理基礎	2022	55.4		

教科書	学習書	副教材
東京書籍 物基702 新編物理基礎	使用しない	使用しない

学習目標
物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を身につける。 科学技術の在り方やエネルギー問題について市民が意思決定するために必要な、科学的な知識、能力、態度を身につける

学習内容
1 熱 絶対温度について学ぶ。また、ブラウン運動などの観察を通して、原子や分子の熱運動と温度との関係を定性的に理解する。 熱量、熱容量、比熱、及び熱量の保存について理解し、熱を定量的に扱えるようになる。(第1回レポート) 2 波 横波と縦波の違いを理解する。また、波の伝わり方について、波の速さ、波長、周期や振動数の量的関係を扱えるようになる。音波の性質として、うなり、固有振動、共振(共鳴)などを学び、身近な楽器の原理について理解する。(第2回レポート) 3 電気 静電気や電流について電子の移動と関連付けて理解するとともに、電荷や電流の大きさを定量的に扱えるようになる。電流のエネルギーについて、電力と電力量を計算で求められるようになる。また、磁場について理解する。さらに、右ねじの法則を学び、電流による磁場について理解する。(第3回レポート)

学習方法
[レポート] 教科書全体をまんべんなく学習して、例題を参考にしながら進めてください。 [スクーリング]レポート範囲に関する解説をします。章末演習問題を解き、理解を深めてください。 [放送視聴]NHK高校講座物理基礎を全て視聴し、特に「20 温度と熱」～「40 エネルギーの利用と課題」はしっかりと視聴し、理解を深めてください。 [定期試験]レポートの学習内容を確認します。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間(放送視聴レポート合格の場合は2時間)以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
関心・意欲・態度 温度、熱運動、熱量、比熱、熱容量などが正しく理解されている。 波の発生原理や基本事項を理解している	思考・判断・表現 日常的な波の事象を、考える。身近な静電気現象について、説明できる。	観察・実験の技能 ウェーブマシンの実験・観察を通して、波の重ねあわせの原理や自由端・固定端での波の反射について理解している。	知識・理解 電流と電圧の基礎について理解している。オームの法則、抵抗の接続、抵抗率の基礎について理解する。	

教科担当より一言
教科書の図、NHK高校講座の動画を活用して自然現象をイメージできるようにしてください。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2TV物理基礎	2023	122		

教科書	学習書	副教材
数研出版 物理706 物理	使用しない	使用しない

学習目標
物理的な事物・現象に対する探究心を高める。 目的意識をもって観察・実験などを行い、物理的に探究する能力と態度を身につける。

学習内容
1 剛体にはたらく力のつり合い 平面上の運動と放物運動 平面内で剛体にはたらく力と力のモーメントがつり合う条件について、理解する。(レポート第1回) 2 円運動と万有引力 円運動する物体の様子を表す方法やその物体に働く力として、等速円運動の速度、周期、角速度、向心加速度及び向心力について理解する。(レポート第2回) 3 単振動 単振動をする物体の位置、速度、加速度の表し方を学び、ばね振り子と単振り子を例にして、単振動をする物体には変位に比例する大きさの復元力が働くことを理解する。(レポート第3回) 4 運動量 運動量と力積がベクトルで表される量であり、物体の運動量の変化が物体に働く力積に等しいことを理解する。(レポート第3回)

学習方法
[レポート] 教科書の例題、章末問題を参考にし、学習を進めてください。 [スクーリング] レポート範囲の内容や自然現象を数式で表現する説明をします。章末演習問題を解き、理解を深めてください。 [放送視聴]駿台サテネット21の指示された箇所を全て視聴し、設問を解答して、ポイントをまとめます。 [定期試験] レポートの学習内容を確認します。特に実験や考察問題も学習してください。計算練習も忘れずにしてください。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
関心・意欲・態度 力とモーメントの意味を理解する。	思考・判断・表現 円運動、単振動を数式で表現する。	観察・実験の技能 等速円運動、運動量のイメージをとらえる。	知識・理解 数学的な知識を物理に活用できるようにする。	

教科担当より一言
教科書の図、NHK高校講座の動画を活用して自然現象をイメージできるようにしてください。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2TV物理基礎	2023	123		

教科書	学習書	副教材
数研出版 物理706 物理	使用しない	使用しない

学習目標
物理的な事物・現象に対する探究心を高める。 目的意識をもって観察・実験などを行い、物理的に探究する能力と態度を身につける。

学習内容
1 気体分子の運動と圧力 気体の状態変化 理想気体について、ボイルの法則やシャルルの法則を含めた気体の状態方程式を理解する。また、気体分子の速さや平均の運動エネルギーと気体の圧力、絶対温度（熱力学温度）の関係について理解する。また、波の表し方として、波の式及び位相について理解する。（第1回レポート） 2 波の性質 音 光 波の伝わり方として、ホイヘンスの原理、水面波の反射・屈折及び屈折率について理解する。定在波についても学習する。音源や観測者が同一直線上を動いているときに観測されるドップラー効果について理解する。（第2回レポート） 偏光板やプリズムを用いた光の観察などを通して、光は横波であることや、光のスペクトルについて理解する。（第3回レポート）

学習方法
レポート]教科書の例題、章末問題を参考にし、学習を進めてください。 [スクーリング]レポート範囲に内容や自然現象を数式で表現する説明をします。章末演習問題を解き、理解を深めてください。 [放送視聴]駿台サテネット2 1の指示された箇所を全て視聴し、設問を解答して、ポイントをまとめます。 [定期試験]レポートの学習内容を確認します。実験や考察問題も学習してください。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
関心・意欲・態度 熱運動に関心をもつ。水面を伝わる波の発生条件について説明できる。	思考・判断・表現 気体の状態変化の、「定積変化」、「定圧変化」、「等温変化」、「断熱変化」を、それぞれp－V図や式で表すことができる。	観察・実験 断熱変化の実験やスターリングエンジンを調べる。しゃぼん玉やCD・DVDが色づいて見える理由を考える	知識・理解 気体が熱運動して壁などの面に力を及ぼすことから圧力の大きさを表す式を導くことができる。	

教科担当より一言
教科書の図、NHK高校講座の動画を活用して熱の自然現象をイメージできるようにしてください。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2TV物理基礎	2023	124		

教科書	学習書	副教材
数研出版 物理706 物理	使用しない	使用しない

学習目標
物理的な事物・現象に対する探究心を高める。 目的意識をもって観察・実験などを行い、物理的に探究する能力と態度を身につける。

学習内容
1 静電気の帯電のしくみ、電荷のもつ電気量について正しく理解する。コンデンサーの基本公式を正しく適用できる。 (レポート第1回) 2 抵抗を直列、並列に接続したとき、電流、電圧がどのような関係にあるかを理解している。p型半導体、n型半導体とは何か、また半導体ダイオードやトランジスターのしくみとはたらきについて (レポート第2回) 3 磁気量について、磁気力に関するクーロンの法則や磁場の定義の中でどのように使われているかを通して理解する。ローレンツ力について理解している。また、ローレンツ力を応用した「ホール効果」や「サイクロトロン」についても、これらの原理（やしくみ）を理解する。 (レポート第3回)

学習方法
レポート]教科書の例題、章末問題を参考にし、学習を進めてください。 [スクーリング]レポート範囲の内容や自然現象を数式で表現する説明をします。章末演習問題を解き、理解を深めてください。 [放送視聴]駿台サテネット 2 1 指示された箇所を全て視聴し、設問を解答して、ポイントをまとめます。 [定期試験] レポートの学習内容を確認します。実験や考察問題も学習してください

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
関心・意欲・態度 電流の流れ方は物質の種類やつなぎ方によってどう異なるか。	思考・判断・表現 「起電力」と「電圧降下」の意味を理解しており、キルヒホッフの法則を正しく適用することができる。	観察・実験 直線電流によって生じる磁場の向きを観察できる。	知識・理解 フレミングの左手の法則、ローレンツ力について理解する。	

教科担当より一言
教科書の図、NHK高校講座の動画を活用して熱の自然現象をイメージできるようにしてください。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2TV物理基礎	2023	125		

教科書	学習書	副教材
数研出版 物理706 物理	使用しない	使用しない

学習目標
物理的な事物・現象に対する探究心を高める。 目的意識をもって観察・実験などを行い、物理的に探究する能力と態度を身につける。

学習内容
1 さまざまな電磁誘導の事例について理解している。また、関係式も求められるようにする。自己誘導や相互誘導などの関係式を導ける。 (レポート第1回) 2 変圧器の関係式を適用できる。また、交流電流、交流電圧の式を理解する。また、これらには位相差が生じていることを理解する。 (レポート第2回) 3 電磁波はその波長により、ふるまいが大きく異なり、波長により分類できることを調べる。 放電（気体放電、真空放電）および陰極線について理解する。 「原子・原子核」を表す記号から、原子核を構成する陽子・中性子の数を求めるようにする。 (レポート第3回)

学習方法
[レポート]教科書の例題、章末問題を参考にし、学習を進めてください。 [スクーリング]レポート範囲に内容や自然現象を数式で表現する説明をします。章末演習問題を解き、理解を深めてください。 [放送視聴]駿台サテネット2 1の指示された箇所を全て視聴し、設問を解答して、ポイントをまとめます。 [定期試験]レポートの学習内容を確認します。実験や考察問題も学習してください。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
関心・意欲・態度 身近にある自転車の発電機の原理 はどのようにしているかという ことに興味・関心をもたせる。	思考・判断・表現 生活の中で利用しているさまざま な電磁波に興味をもち、電磁波の 性質について考える。	観察・実験 ミリカンのモデル実験、健康診 断の検査などで使われているX 線を調べる。	知識・理解 電磁波の発生原理、光電効果の 原理、電子のエネルギー準位に ついて理解する	

教科担当より一言
教科書の図、NHK高校講座の動画を活用して熱の自然現象をイメージできるようにしてください。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2TV化学基礎	2022	60.4		

教科書	学習書	副教材
第一学習社 化基712 高等学校 新化学基礎	使用しない	使用しない

学習目標
化学が物質を対象とする科学であることや化学が人間生活に果たしている役割を理解できる。 原子の構造、電子配置と周期律の関係及び、化学結合・化学変化のしくみについて理解できる。

学習内容
1 物質の構成 物質の成分と構成元素 原子の構造と元素の周期表 純物質・混合物の性質 分離と精製、原子の構造、電子配置、価電子、周期表 (レポート第1回) 2 化学結合、物質量 イオン結合、共有結合、組成式、分子式、原子量、物質量 (レポート第2回) 3 物質量と化学反応式 原子量、アボガドロ数、物質量、1モル(mol)、モル質量、気体1molの体積、溶液、質量パーセント濃度、モル濃度、 化学反応式の量的関係 (レポート第3回)

学習方法
[レポート]教科書を参考にし、学習を進めてください。NHK高校講座化学基礎の動画を見て学習しましょう。特に実験観察に関する分野は参考になります。 [スクーリング]レポート範囲を中心に重要項目のポイントを解説します。 [放送視聴]NHK高校講座化学基礎を全て視聴し、特に「2 純物質と混合物」～「18 イオン結合とイオン結晶」はしっかりと視聴し、理解を深めてください。 [定期試験]レポートの学習内容を中心に確認します。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
関心・意欲・態度 科学への興味関心探究心 を持って取り組んでいるか	思考・判断・表現 学習の中から科学的思考・判断力をつけられているか	観察・実験の技能・表現 得られた結果を表現する力が ついているか	知識・理解 科学的内容が身につ いているか	

教科担当より一言
放送視聴だけでなく、NHK高校講座の動画を大いに活用して物質を構成する粒子、化学結合による物質の違い、原子・分子の量の扱いをイメージできるようにしてください。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2TV化学基礎	2022	61.4		

教科書	学習書	副教材
第一学習社 化基712 高等学校 新化学基礎	使用しない	使用しない

学習目標
酸と塩基の反応及び酸化還元反応の基本的な概念や法則が理解できるとともに日常生活や社会と関連付けて考察できる

学習内容
1 酸と塩基 酸・塩基の定義、アレニウス、ブレンステッド・ローリーの酸・塩基、pH、中和反応、塩の水溶液の性質（レポート第1回） 2 中和反応、酸化還元反応 中和の量的関係、中和滴定、酸化還元の定義、酸化数、酸化剤、還元剤（レポート第2回） 3 酸化還元反応 酸化還元反応、イオン化傾向、電池・電気分解、酸化剤・還元剤の半反応式（レポート第3回）

学習方法
[レポート] 教科書を参考にし、学習を進めてください。NHK高校講座化学基礎の動画を見て学習しましょう。特に実験観察に関する分野は参考になります。 [スクーリング]レポート範囲を中心に重要項目のポイントを解説します。 [放送視聴]NHK高校講座化学基礎を全て視聴し、特に「25 酸と塩基」～「38 身近な酸化還元反応」はしっかりと視聴し、理解を深めてください。 [定期試験]レポートの学習内容を中心に確認します。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
関心・意欲・態度 科学への興味関心探究心 を持って取り組んでいるか	思考・判断・表現 学習の中から科学的思考・判断力をつけられているか	観察・実験の技能・表現 得られた結果を表現する力が ついているか	知識・理解 科学的内容が身につ いているか	

教科担当より一言
実験・観察の多い分野です。NHKの高校講座の動画を活用してください。特に中和滴定と実験器具の使用方法的な視聴を勧めます。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2駿台サテネット21	2023	126		

教科書	学習書	副教材
第一学習社 化学708 高等学校 化学	使用しない	使用しない

学習目標
気体、液体、固体の性質、化学反応と熱・光について探究する。物質の状態変化、状態間の平衡、溶解平衡および溶液の性質について理解するとともに、日常生活や社会と関連づけて考察できる。

学習内容
・ 物質の状態 物質の三態と状態変化、分子間力と三態、気液平衡、蒸気圧と蒸気圧曲線、気体の法則、固体の構造を理解する。（第1回レポート） ・ 溶液の性質 溶解と溶液、沸点上昇・凝固点降下、コロイド溶液の性質を理解する。（第2回レポート） ・ 化学反応と熱・光 熱化学方程式の書き方とその意味、練習を行う。 ヘスの法則、エンタルピー、エントロピーについて学習する。（第3回レポート）

学習方法
[レポート] 教科書を参考にし、学習を進めてください。実験データの扱い方も理解するようにしましょう。 [スクーリング] レポート範囲の内容を中心に重要項目のポイントを解説します。 [放送視聴]駿台サテネット21の指示された箇所を全て視聴し、設問を解答して、ポイントをまとめます。 [定期試験] レポートの学習内容を中心に確認します。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間(放送視聴レポート合格の場合は2時間)以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定の目安になります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
関心・意欲・態度 科学への興味関心探究心を持って取り組んでいるか	思考・判断・表現 学習の中から科学的思考・判断力をつけられているか	観察・実験の技能・表現 得られた結果を表現する力がついているか	知識・理解 科学的内容が身についているか	

教科担当より一言
物質の三態については、教科書の例題や図を参考にしてください。熱化学は、エンタルピー・エントロピーの概念をしっかりと押さえよう。駿台サテネット21も参考にしてください。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2駿台サテネット21	2023	127		

教科書	学習書	副教材
第一学習社 化学708 高等学校 化学	使用しない	使用しない

学習目標
化学エネルギーと電気エネルギーの変換，反応速度および化学平衡を探究し，化学反応に関する概念や法則を理解するとともに，日常生活や社会と関連づけて考察できる。

学習内容
・電池と電気分解 金属のイオン化傾向と電池の正極・負極,起電力 一次電池と二次電池,ダニエル電池,鉛蓄電池の構造と反応,電気分解の実例,ファラデーの電気分解の法則を理解する。 ・化学反応の速さ 反応速度の表し方,反応物または生成物の濃度の時間変化と反応速度,反応速度反応式の係数との関係，反応速度を求める例 反応物の濃度と反応速度の大きさ，反応速度式と反応速度定数を求められるようにする。（第1回レポート） ・化学平衡 可逆反応と化学平衡 可逆反応と不可逆反応 平衡状態の意味 化学平衡の法則と平衡定数，ルシャトリエの原理と平衡の移動を考える。（第2回レポート） ・水溶液中の化学平衡 弱酸の電離平衡と電離定数，弱塩基の電離平衡水のイオン積,塩の加水分解と塩の水溶液の性質,緩衝液を理解する。（第3回レポート）

学習方法
[レポート] 教科書を参考にし、学習を進めてください。実験データの扱い方も理解するようにしましょう。 [スクーリング] レポート範囲の内容を中心に重要項目のポイントを解説します。 [放送視聴]駿台サテネット21の指示された箇所を全て視聴し、設問を解答して、ポイントをまとめます。 [定期試験] レポートの学習内容を中心に確認します。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定の目安になります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
関心・意欲・態度 科学への興味関心探究 心を持って取り組んでいるか	思考・判断・表現 学習の中から科学的思考・判断力をつけられているか	観察・実験の技能・表現 得られた結果を表現する力が がついているか	知識・理解 科学的内容が身につ いているか	

教科担当より一言
電池・電気分解は化学基礎の「酸化数」と結びつけて理解することが大切です。NHK高校講座の映像も参考になります。 化学平衡の概念は自然科学の中でも重要なものです。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2駿台サテネット21	2023	128		

教科書	学習書	副教材
第一学習社 化学708 高等学校 化学	使用しない	使用しない

学習目標
有機化合物の性質や反応，有機化合物の分類と特徴を理解するとともに，日常生活や社会と関連づけて考察できる。

学習内容
有機化合物の特徴と構造 ・有機化合物，価標（単結合・二重結合・三重結合）と飽和結合・不飽和結合を理解する。 ・アルコールと関連化合物 価数による分類，第一級・第二級・第三級アルコールによる分類 ヒドロキシ基の特性による性質を考える（第1回レポート） ・カルボン酸とエステル。芳香族化合物の構造と性質、有機化合物の分離法を学ぶ。（第2回レポート） ・油脂の構造と性質。石けんと合成洗剤。天然有機高分子化合物については、糖類とタンパク質の構造・性質を学ぶ。 （第3回レポート）

学習方法
[レポート] 教科書を参考にし、学習を進めてください。実験データの扱い方も理解するようにしましょう。 [スクーリング] レポート範囲の内容を中心に重要項目のポイントを解説します。 [放送視聴]駿台サテネット21の指示された箇所を全て視聴し、設問を解答して、ポイントをまとめます。 [定期試験] レポートの学習内容を中心に確認します。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定の目安になります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
関心・意欲・態度 科学への興味関心探究 心を持って取り組んでいるか	思考・判断・表現 学習の中から科学的思考・判断力をつけられているか	観察・実験の技能・表現 得られた結果を表現する力が がついているか	知識・理解 科学的内容が身につ いているか	

教科担当より一言
おもな有機化合物は物質名と構造式をきっちりと押さえていきましょう。手当たり次第に暗記するのではなく、分類ごとの反応や性質をまとめていこう。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2駿台サテネット21	2023	129		

教科書	学習書	副教材
第一学習社 化学708 高等学校 化学	使用しない	使用しない

学習目標
無機物質の性質や反応を探究し、元素の性質が周期表に基づいて整理できることを理解するとともに、日常生活や社会と関連づけて考察できる。天然有機高分子、合成高分子の特徴を理解する。

学習内容
無機物質 ・典型元素の性質を周期表と関連付けて理解する。 ハロゲンの酸化力、アルカリ金属の性質、Nの化合物、無機化学工業について学習する。（第1回レポート） ・アルミニウムの性質（両性元素）、鉄・銅・銀を中心とした遷移金属の性質・反応を理解する。 金属イオンの分離法を学習する。（第2回レポート） ・天然有機高分子と合成高分子の構造上の特徴、性質を学習する。（第3回レポート）

学習方法
[レポート] 教科書を参考にし、学習を進めてください。実験データの扱い方も理解するようにしましょう。 [スクーリング] レポート範囲の内容を中心に重要項目のポイントを解説します。 [放送視聴]駿台サテネット21の指示された箇所を全て視聴し、設問を解答して、ポイントをまとめます。 [定期試験] レポートの学習内容を中心に確認します。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定の目安になります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
関心・意欲・態度 科学への興味関心探究 心を持って取り組んでいるか	思考・判断・表現 学習の中から科学的思考・判断力をつけられているか	観察・実験の技能・表現 得られた結果を表現する力が がついているか	知識・理解 科学的内容が身についているか	

教科担当より一言
無機化合物は周期表、すなわち価電子数と関連付けて考えることが大切です。反応は酸化還元が中心となるので、化学基礎の酸化数との関連も重要になります。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2TV生物基礎	2022	66.4		

教科書	学習書	副教材
東京書籍 生基702 新編生物基礎	使用しない	使用しない

学習目標
日常生活や社会との関連を知りながら、生物や生物現象について理解するとともに、学的に探求するために必要な観察・実験を理解し、科学的に探究する力を養う。生命を尊重し、自然の保全に寄与する態度を養う。

学習内容
顕微鏡の使い方（第1回レポート） 1編 生物の特徴 1章 生物の多様性と共通性 2章 生物とエネルギー（第1回レポート） 2編 遺伝子とそのはたらき 1章 遺伝情報とDNA 2章 遺伝情報とタンパク質合成（第2回レポート） 4編 生物の多様性と生態系 1章 植生と遷移（第3回レポート）

学習方法
[レポート] 教科書・図表を参考にし、学習を進めてください。多様な生物においても、共通にみられる構造や性質について着目し学習しましょう。 [スクーリング] レポート範囲に関する解説をします。理解を深めてください。 [放送視聴] NHK高校座の「生物基礎」を全て視聴し、特に「1回 生物の特徴」「2回 生物の多様性」「3回 生物の共通性」「31回 さまざまな植物の環境への適応」「32回 遷移とバイオーム(1)」「33回 遷移とバイオーム②」はしっかりと視聴し、理解を深めてください。 [定期試験] レポートの学習内容を確認します。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
関心・意欲・態度 生物の多様性共通性の視点を持ち、ニュースで取り上げられていることを身近な問題として考えられているか。	思考・判断・表現 細胞の構造・性質を理解し、考察しているか。	観察・実験の技能 光合成にかかわる物質に興味をもち観察できたか	知識・理解 真核細胞・原核細胞の理解。光合成・呼吸の理解をしているか。	

教科担当より一言
地球上に存在する多様な生物に興味を持ち、その共通性を学びましょう。疑問に思ったことは、調べ学習によりさらに深めてみましょう。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2TV生物基礎	2022	67.4		

教科書	学習書	副教材
東京書籍 生基702 新編生物基礎	使用しない	使用しない

学習目標
日常生活や社会との関連を知りながら、生物や生物現象について理解するとともに、学的に探求するために必要な観察・実験を理解し、科学的に探究する力を養う。生命を尊重し、自然の保全に寄与する態度を養う。

学習内容
3編 ヒトの体の調節 1章 ヒトの体を調節するしくみ(第1回レポート) 2章 免疫のはたらき(第2回レポート) 4編 生物の多様性と生態系 2章 生態系と生物の多様性(第3回レポート) 結章 生物基礎と私たち(第3回レポート)

学習方法
[レポート] 教科書・図表を参考にし、学習を進めてください。ヒトに体の構造や性質について着目し学習しましょう。 [スクーリング] レポート範囲に関する解説をします。理解を深めてください。 [放送視聴] NHK高校講座の「生物基礎」を全て視聴し、特に「18回 神経系による情報伝達(1)」「19回 神経系による情報伝達(2)」「20回 内分泌系による情報伝達」「23回 免疫のしくみ(1)」「24回 免疫のしくみ(2)」「25回 免疫の応用」はしっかりと視聴し理解を深めてください。 [定期試験] レポートの学習内容を確認します。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
関心・意欲・態度 生物の多様性共通性の視点を持ち、ニュースで取り上げられていることを身近な問題として考えられているか。	思考・判断・表現 体内環境の構造・性質を理解し、考察しているか。	観察・実験の技能 体内環境にかかわる物質に興味をもち観察できたか	知識・理解 内部環境の仕組みを理解をしているか。	

教科担当より一言
ヒトの体の構造や仕組みに興味を持ち、学びましょう。疑問に思ったことは、調べ学習によりさらに深めてみましょう。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2駿台サテネット21	2023	130		

教科書	学習書	副教材
啓林館 生物703 高等学校 生物	コースター 新生物図表	使用しない

学習目標
生物の生物現象に対する探求心を高め、目的意識をもってデータの分析を行い、生物学的に探究する能力と態度を身に付ける。生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を養う。

学習内容
第1部 生物の進化 第1章 生物の進化 第1節生命の起源 第2節生物界の変遷と地球環境の変化（第1回レポート） 第2章 有性生殖と遺伝的多様性 第1節有性生殖 第2節遺伝子の多様な組み合わせ（第1回レポート） 第2部 生命現象と物質 第5章 生命と物質 第1節物質と細胞 第2節生命現象とタンパク質（第2回レポート） 第1部 生物の進化 第3章 進化のしくみ 第1節突然変異と進化 第2節進化の要因 第4章 生物の系統 第1節生物の分類と系統 第2節3ドメイン説 第3節細菌ドメイン 第4節アーキアドメイン 第5節真核生物ドメイン 第6節人類の起源と進化（第3回レポート）

学習方法
[レポート] 教科書・図表を参考にし、学習を進めてください。多様な生物においても、共通にみられる構造や性質について着目し学習しましょう。 [スクーリング] レポート範囲に関する解説をします。理解を深めてください。 [放送視聴] 駿台サテネット2 1「生物共通テスト対策」を全て視聴し、特に「第2回 進化のしくみとヒトの進化」はしっかりと視聴し、理解を深めてください。 [定期試験] レポートの学習内容を確認します。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
関心・意欲・態度 生命の起源、多様な遺伝子の組み合わせに感心がもてるか。	思考・判断・表現 生命の起源を考えることが出来る。遺伝的組み合わせがわかる。	観察・実験の技能 遺伝の法則から考え導き出すことができるか。	知識・理解 生命の起源と生命の変性がわかる。遺伝子染色体がわかる。	

教科担当より一言
生命の起源それに関わる多様な遺伝子に興味を持ち学びましょう。疑問に思ったことは、調べ学習によりさらに深めてみましょう。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2駿台サテネット21	2023	131		

教科書	学習書	副教材
啓林館 生物703 高等学校 生物	コースページ 新生物図表	使用しない

学習目標
生物の生物現象に対する探求心を高め、目的意識をもってデータの分析を行い、生物学的に探究する能力と態度を身に付ける。生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を養う。

学習内容
第2部 生命現象と物質 第6章 代謝 第1節代謝とエネルギー 第2節呼吸 (第1回レポート) 第3節光合成 (第2回レポート) 第3部 遺伝情報の発現と発生 第7章 遺伝情報の複製 第1節遺伝情報の複製 第2節遺伝子の発現 第3節遺伝子の発現調節 (第3回レポート)

学習方法
[レポート] 教科書・図表を参考にし、学習を進めてください。多様な生物においても、共通にみられる構造や性質について着目し学習しましょう。 [スクーリング] レポート範囲に関する解説をします。理解を深めてください。 [放送視聴] 駿台サテネット2 1「生物共通テスト対策」を全て視聴し、特に「第5回 呼吸と発酵」はしっかりと視聴し、理解を深めてください。 [定期試験] レポートの学習内容を確認します。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
関心・意欲・態度 代謝・遺伝子に興味関心をもつことができる。	思考・判断・表現 エネルギーが作られる仕組み、遺伝子の発現について考えることができる。	観察・実験の技能 遺伝子解析の方法やデータなど技術を理解することが出来る。	知識・理解 遺伝子・エネルギーにおける知識をりかいすることができる。	

教科担当より一言
代謝のしくみ、遺伝子の発現に興味を持ち学びましょう。疑問に思ったことは、調べ学習によりさらに深めてみましょう。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2駿台サテネット21	2023	132		

教科書	学習書	副教材
啓林館 生物703 高等学校 生物	ニューステージ 新生物図表	使用しない

学習目標
生物の生物現象に対する探求心を高め、目的意識をもってデータの分析を行い、生物学的に探究する能力と態度を身に付ける。生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を養う。

学習内容
第3部 遺伝情報の発現と発生 第8章 発生と遺伝子の発現 第1節動物の配偶子形成と受精 第2節 初期発生の過程 第3節 発生と遺伝子の発現 (第1回レポート) 第4部 生物の環境応答 第10章 刺激の受容と反応 第1節 刺激の受容 第2節 神経 第3節神経系(第2回レポート) 第4節 効果器(第3回 レポート) 第11章 動物の行動 第1節 生得的行動 第2節 学習 (第3回レポート)

学習方法
[レポート] 教科書・図表を参考にし、学習を進めてください。多様な生物においても、共通にみられる構造や性質について着目し学習しましょう。 [スクーリング] レポート範囲に関する解説をします。理解を深めてください。 [放送視聴] 駿台サテネット2 1「生物共通テスト対策」を全て視聴し、特に「第8回 ニューロンとその興奮」はしっかりと視聴し、理解を深めてください。 [定期試験] レポートの学習内容を確認します。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間(放送視聴レポート合格の場合は2時間)以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
関心・意欲・態度 動物の配偶子形成、受精、受容器、神経、効果器のしくみがわかる。	思考・判断・表現 細胞の分化と形態形成のしくみ、刺激を受け取り神経が伝え、効果器が働くしくみを考えることができる。	観察・実験の技能 眼の構造を実験を通して体感することが出来る。	知識・理解 受容器と効果器をむすびけ、行動することが出来ることを理解している。	

教科担当より一言
物を手にしたり、動いたりすることができるのは、受容器、効果器、神経系が大きく関わっている。また、受精卵がそれらに分化していくことをよく理解し、興味を持ってみましょう。疑問に思ったことは、調べ学習によりさらに深めてみましょう。

シラバス

15 理科 153071 生物(d)
指導要録科目名 生物

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2駿台サテネット21	2023	133		

教科書	学習書	副教材
啓林館 生物703 高等学校 生物	コースページ 新生物図表	使用しない

学習目標
生物の生物現象に対する探求心を高め、目的意識をもってデータの分析を行い、生物学的に探究する能力と態度を身に付ける。生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を養う。

学習内容
第5部 生態と環境 第12章 植物の環境応答 第1節 植物の生殖と発生 (第1回レポート) 第2節 発芽と成長 (第2回レポート) 第13章 生態と環境 第1節 個体群とその変動 第2節 種内関係 第3節 種間関係 第14章 生態系 第1節 生態系と物質生産 第2期 生態系と人間生活 (第3回レポート)

学習方法
[レポート] 教科書・図表を参考にし、学習を進めてください。多様な生物においても、共通にみられる構造や性質について着目し学習しましょう。 [スクーリング] レポート範囲に関する解説をします。理解を深めてください。 [放送視聴] 駿台サテネット2 1「生物共通テスト対策」を全て視聴し、特に「第9回植物の反応と調節」「第10回個体群と生物群集」はしっかりと視聴し、理解を深めてください。 [定期試験] レポートの学習内容を確認します。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
関心・意欲・態度 重複受精、植物ホルモンの、個体群のしくみがわかる。	思考・判断・表現 配偶子形成と受精の過程を考えると出来る。個体群による相互関係を考えることが出来る。	観察・実験の技能 個体数の生態系への影響を感じながら自然を観察することが出来る。	知識・理解 植物ホルモンののはたらき、物質生産とエネルギーについて理解することができる。	

教科担当より一言
身の周りの植物、自然に興味を持ち、植物ホルモンや個体数について興味関心を持ってみましょう。疑問に思ったことは、調べ学習によりさらに深めてみましょう。

シラバス

16 保健体育 163111 体育(a)

指導要録科目名 体育

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	2	10	10	なし	2022			

教科書	学習書	副教材
大修館 保体701 現代高等保健体育	使用しない	使用しない

学習目標
スポーツの始まりと変遷について理解し、実用的な活動の工夫が人間の文化をつくり出したことについて説明することができる。運動との比較からスポーツの特徴を理解し、スポーツ文化の変容および、競技スポーツにおける競争の意味について例をあげて説明することができる。

学習内容
動物行動から始まり、人間にとっての運動の意味について理解し、実用的な活動の工夫が人間の文化をつくり出したことに興味・関心を持ち、スポーツの始まりと変遷、近代スポーツから国際スポーツへと発展した流れについて、世界の民族スポーツについて、スポーツの文化的内容、昨今のスポーツ文化の変容について、競技スポーツにおける競争の意味について、話し合いや意見交換などの学習活動に取り組む。

学習方法
[レポート]教科書を参考にし、学習を進める。 [スクーリング]校内施設型(ストレッチ・ネット型球技・ゴール型球技)・校外活動型(ストレッチ・ネット型球技・ゴール型球技・登山)・実技型(ゴルフ練習)の実施 【放送視聴】NHK高校講座の「体育実技」「保健体育」を視聴し、知識や技能を学ぶ。 [定期試験]筆記試験は実施しない。レポート配点と授業点で評価する。

評価方法
2回のレポートすべてが合格、授業に10時間（やむを得ない理由により放送視聴レポート合格の場合5時間）以上出席し、試験が35点以上であることで単位認定する。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
知識・技能 スポーツの始まりと変遷について理解できている。 ルールを理解し試合運営ができる。	思考・判断・表現 運動における自己の課題を発見することができる。	授業態度 主体的に運動に取り組もうとしている。		

教科担当より一言
教科書の用語解説にレポートのヒントがあるので活用して取り組む事。

シラバス

16 保健体育 163111 体育(b)

指導要録科目名 体育

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	2	10	10	なし	2022			

教科書	学習書	副教材
大修館 保体701 現代高等保健体育	使用しない	使用しない

学習目標
オリンピックとパラリンピックそれぞれについての意義を理解し、双方の価値について説明することができる。オリンピックの変貌してきた様子について理解し、スポーツが経済活動において、関わる業種をふまえて、どのような役割を果たしているかを説明することができる。

学習内容
オリンピズムとオリンピックムーブメント、共生社会とパラリンピックムーブメント、オリンピック、パラリンピックがどのように変貌してきたかについて、スポーツによる経済波及効果、スポーツ産業の拡大と経済的価値について、スポーツの高潔さを守ること、ドーピング問題、これからのスポーツと環境保護、スポーツにおける技術と技能の違い、体力の構成要素、練習とトレーニングの原理と原則について興味・関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組む。

学習方法
[レポート] 教科書を参考にし、学習を進める。 [スクーリング] 校内施設型(ストレッチ・ネット型球技・ゴール型球技)・校外活動型(ストレッチ・ネット型球技・ゴール型球技・登山)・実技型(ゴルフ練習)の実施。 【放送視聴】 NHK高校講座の「体育実技」「保健体育」を視聴し、知識や技能を学ぶ。 [定期試験]

評価方法
2回のレポートすべてが合格、授業に10時間（やむを得ない理由により放送視聴レポート合格の場合5時間）以上出席し、試験が35点以上であることで単位認定する。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
知識・技能 オリンピックとパラリンピックについて理解できている。 技術と技能の違いについて理解できている。	思考・判断・表現 スポーツと経済活動において、役割や関りについて考え説明できる。	授業態度 スポーツを効果的に行うために主体的に取り組むことができる。		

教科担当より一言
教科書の用語解説にレポートのヒントがあるので活用して取り組むこと。

シラバス

16 保健体育 163111 体育(c)

指導要録科目名 体育

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	2	10	10	なし	2022			

教科書	学習書	副教材
大修館 保体701 現代高等保健体育	使用しない	使用しない

学習目標
運動・スポーツの学び方について技術と技能の違い、技能上達過程の段階、体の動きの仕組みについてそれぞれ理解し、技能の型の違いと練習の仕方について、効果的な練習法について、動きの開始と持続・コントロールについて説明することができる。

学習内容
技能の型に応じた練習、戦術・作戦・戦略、技術や戦術の変化、メディアとの関係性、技能の上達過程、効果的な練習法、球技における戦術の特徴について、効果的な動きのメカニズムについて興味・関心を持つ。運動・スポーツが脳を育てること、体の動きはいろいろな力の影響を受けること、物理学の原理を用いて体やボールの動きを効果的にコントロールできることについて、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組む。

学習方法
[レポート] 教科書を参考にし、学習を進める。 [スクーリング] 校内施設型(ストレッチ・ネット型球技・ゴール型球技)・校外活動型(ストレッチ・ネット型球技・ゴール型球技・登山)・実技型(ゴルフ練習)の実施。 【放送視聴】 NHK高校講座の「体育実技」「保健体育」を視聴し、知識や技能を学ぶ。 [定期試験] 筆記試験は実施しない。レポート配点と授業点で評価する。

評価方法
2回のレポートすべてが合格、授業に10時間（やむを得ない理由により放送視聴レポート合格の場合5時間）以上出席し、試験が35点以上であることで単位認定する。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
知識・技能 それぞれの技能の方について理解できている。 運動のメカニズムについて理解できている。	思考・判断・表現 自分に効果的な練習を考え説明、実践することができる。	授業態度 運動について原理原則を主体的に考えようとしてる。		

教科担当より一言
教科書の用語解説にレポートのヒントがあるので活用して取り組むこと。

シラバス

16 保健体育 163111 体育(d)

指導要録科目名 体育

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	2	10	10	なし	2022			

教科書	学習書	副教材
大修館 保体701 現代高等保健体育	使用しない	使用しない

学習目標
社会の変化とスポーツの役割とその変化、豊かなスポーツライフの設計、スポーツを推進する取り組みについて理解し、ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方、マイスポーツライフの設計の仕方、豊かなスポーツライフへの課題について説明することができる。

学習内容
レジャー社会におけるスポーツの役割、スポーツ科学・関わる職業、スポーツライフスタイルのタイプ、日本や諸外国のスポーツの推進施策について興味・関心を持ち、ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方、マイスポーツライフの設計、地域のスポーツ環境、これまでとこれからのスポーツライフ、豊かなスポーツライフを創造していくための課題について意欲的に取り組む。

学習方法
[レポート] 教科書を参考にし、学習を進める。 [スクーリング] 校内施設型(ストレッチ・ネット型球技・ゴール型球技)・校外活動型(ストレッチ・ネット型球技・ゴール型球技・登山)・実技型(ゴルフ練習)の実施。 【放送視聴】 NHK高校講座の「体育実技」「保健体育」を視聴し、知識や技能を学ぶ。 [定期試験] 筆記試験は実施しない。レポート配点と授業点で評価する。

評価方法
2回のレポートすべてが合格、授業に10時間（やむを得ない理由により放送視聴レポート合格の場合5時間）以上出席し、試験が35点以上であることで単位認定する。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
知識・技能 日本や諸外国のスポーツの違いについて理解できている。 自らにあったスポーツの楽しみ方を理解できている。	思考・判断・表現 それぞれのライフステージに応じたスポーツライフを考え、説明することができる。	授業態度 豊かなスポーツライフの実現に向けて主体的に取り組むものとしている。		

教科担当より一言
教科書の用語解説にレポートのヒントがあるので活用すること。

シラバス

16 保健体育 163111 体育(e)

指導要録科目名 体育

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	2	10	10	なし	2022			

教科書	学習書	副教材
大修館 保体701 現代高等保健体育	使用しない	使用しない

学習目標
オリンピズムとオリンピックムーブメントについて理解し、オリンピックがどのように変貌してきたかについて、スポーツによる経済波及効果について理解し、スポーツ産業の発達がおよぼす経済活動への影響について説明することができる。

学習内容
オリンピズムとオリンピックムーブメント、オリンピックがどのように変貌してきたかについて、スポーツによる経済波及効果、スポーツ産業の発達がおよぼす経済活動への影響について、スポーツにおける技術と技能の違い、クローズドスキルとオープンスキルの違い、戦術・作戦・戦略の違いについて、ゴール型・ネット型・ベースボール型・ターゲット型の4分類について関心をもち、学習活動に意欲的に取り組む。

学習方法
[レポート] 教科書を参考にし、学習を進める。 [スクーリング] 校内施設型(ストレッチ・ネット型球技・ゴール型球技)・校外活動型(ストレッチ・ネット型球技・ゴール型球技・登山)・実技型(ゴルフ練習)の実施。 【放送視聴】 NHK高校講座の「体育実技」「保健体育」を視聴し、知識や技能を学ぶ。 [定期試験] 筆記試験は実施しない。レポート配点と授業点で評価する。

評価方法
2回のレポートすべてが合格、授業に10時間（やむを得ない理由により放送視聴レポート合格の場合5時間）以上出席し、試験が35点以上であることで単位認定する。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
関心・意欲 オリンピックとパラリンピックについて理解しようとしている。	授業態度 スポーツを効果的に行うために主体的に取り組むことができる。	ルールの理解 それぞれの種目について理解し試合運営ができる。		

教科担当より一言
教科書の用語解説にレポートのヒントがあるので活用すること。

シラバス

16 保健体育 163121 保健(a)

指導要録科目名 保健

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	1	1	なし	2022	68.4	2	

教科書	学習書	副教材
大修館 保体701 現代高等保健体育	使用しない	使用しない

学習目標
健康についての多様な考え方、健康の成り立ちとその要因について理解し、現代社会におけるさまざまな要因（生活習慣病、がん、運動、食事、休養・睡眠、喫煙、飲酒、薬物乱用、精神疾患、感染症）を知り、健康に関する意思決定・行動選択について説明することができる。

学習内容
健康についての多様な考え方、健康の成り立ちとその要因について興味・関心をもち、学習活動に意欲的に取り組む。 WHO憲章での健康の考え方、生きがいを重視した健康の考え方、健康の成り立ちにかかわる要因が変化していること、さまざまな主体要因と環境要因についての、基礎的な事項を理解する。 平均寿命の伸びと死亡率の低下、生活習慣病の種類と要因、がんの種類と原因、がんの治療と緩和ケア、健康に関わる運動の課題、食事の重要性、健康からみた休養・睡眠の意義、喫煙の影響、喫煙の開始・継続要因、飲酒による健康影響と社会問題、薬物乱用の危険性、精神疾患の特徴、精神疾患の早期発見・早期治療、精神疾患からの回復、感染症の今日的課題、感染症予防の3原則、性感染症・エイズとは何か、性感染症・エイズの予防について理解を深める。

学習方法
[レポート] 教科書を参考にし、学習を進める。 [スクーリング] プリント教材・DVD教材を利用し、解説をする。 [定期試験] レポートの学習内容を確認する。

評価方法
3回のレポートすべてが合格、授業に1時間以上出席し、試験が35点以上であることで単位認定する。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
知識・技能 健康についての多様な考え方が、現代社会の様々な要因を含め理解できている。	思考・判断・表現 現代社会における様々な要因を考え、健康の成り立ちについて説明することができる。	興味・関心・態度 健康の成り立ちを知るため主体的に学習に取り組もうとしている。		

教科担当より一言
教科書の用語解説にレポートのヒントがあるので活用すること。

シラバス

16 保健体育 163121 保健(b)

指導要録科目名 保健

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	1	1	なし	2022	69.4	2	

教科書	学習書	副教材
大修館 保体701 現代高等保健体育	使用しない	使用しない

学習目標
安全な社会生活に向けた社会づくり、生涯の各段階での健康課題、社会全体の健康を高めるための環境・食品と健康との関係を理解し、事故・自然災害・犯罪などへの備え、労働と健康との関係、健康を支える環境づくりに積極的に参加する意義やその方法を説明することができる。

学習内容
交通における安全な社会の形成、応急手当の意義、ライフステージと健康、環境と健康にかかわる対策、食品の安全性に関心をもち、学習活動に意欲的に取り組む。 交通事故の現状と発生要因、個人の危険予測と危険回避、交通事故の責任、応急手当の手順、日常的な応急手当、心肺蘇生法の意義、思春期の体と健康、性意識とその尊重、妊娠・出産と健康、避妊法と人工妊娠中絶、結婚生活、中高年期と健康、働き方の変化、労働災害、職業生活、大気汚染・水質汚濁・土壌汚染、環境汚染の防止、ごみ処理の現状、食品の安全性、保健・医療サービス、医薬品の制度、健康に関する環境づくりについて基礎的な事項を理解する。 事故の実態と被害の実態、安全を確保するために必要な環境整備、交通環境対策、けがの状態に応じた手当、心肺蘇生法の手順、各ライフステージにおける健康課題、思春期の健康課題、性行動の選択、家族計画の意義と避妊法、高齢者の健康を支える取り組み、働くことによる健康問題、労働災害の防止、メンタルヘルスケア、産業廃棄物の処理と課題、安全で良質な水の確保、食品の安全性に関する今日的課題、食品の安全性の確保、医薬品の副作用と安全性を守る取り組み、健康に関する環境づくりと社会参加について、理解を深める。

学習方法
[レポート] 教科書を参考にし、学習を進める。 [スクーリング] プリント教材・DVD教材を利用し、解説をする。 [定期試験] レポートの学習内容を確認する。

評価方法
3回のレポートすべてが合格、授業に1時間以上出席し、試験が35点以上であることで単位認定する。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
知識・技能 安全な社会生活を送るために、社会全体の諸課題を理解している。	思考・判断・表現 安全な社会形成に向け、自らのできることを考え、説明することができる。	興味・関心・態度 安全な社会づくりに関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。		

教科担当より一言
教科書の用語解説にレポートのヒントがあるので活用すること。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2Radio音楽Ⅰ	2022	70.4		

教科書	学習書	副教材
教出 音楽Ⅰ701 音楽Ⅰ Tutti +	使用しない	使用しない

学習目標
音楽の幅広い活動を通して、生徒が個性を生かしながら思いや意図をもって表現したり味わって鑑賞したりする力を育成し、 照会にわたり音楽を愛好する心情を育てる。音楽と生活とのかかわりについて考え音環境への関心を高める。

学習内容
第1回レポート 西洋音楽史・日本歌曲・楽典 第2回レポート 西洋音楽・ドイツ歌曲・楽典 第3回レポート 声という大切な楽器・世界の音楽、楽器・イタリアの民謡、歌曲

学習方法
[レポート]教科書を参考にし、学習を進めてください。单元ごと、身近な生活の一部に学習内容が生かされていることを実感しましょう。 [スクーリング]レポート範囲に関する内容の解説、楽器による実践を行います。 [放送視聴]NHK高校講座の「音楽Ⅰ」を全て視聴し、理解を深めてください。 [定期試験] レポートの学習内容を確認します。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
知識・技能 曲想や表現上の効果と音楽の構造がわかり など文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。	思考・判断・表現 音色、リズム、旋律、強弱、構成などを知 覚しそれらの原動力を甘受しながら、どの ように歌うかについて表現意図を持ち表現 できる。	主体的に学習に取り組む 文化的・歴史的背景の学習で、主体的・ 協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうと している。		

教科担当より一言
音楽の基本を理解し、世界の音楽に触れ、これからの生活に生かしてみよう。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2Radio音楽Ⅰ	2022	71.4		

教科書	学習書	副教材
教出 音楽Ⅰ701 音楽ⅠTutti +	使用しない	使用しない

学習目標
音楽の幅広い活動を通して、生徒が個性を生かしながら思いや意図をもって表現したり味わって鑑賞したりする力を育成し、 照会にわたり音楽を愛好する心情を育てる。音楽と生活とのかかわりについて考え音環境への関心を高める。

学習内容
第1回レポート 楽典・英語の音楽 第2回レポート 私たち郷土の音楽・日本音楽史 第3回レポート さまざまな時代のピアノ曲を聴こう・交響曲を探究しよう・ギターの演奏を楽しむ

学習方法
[レポート]教科書を参考にし、学習を進めてください。単元ごと、身近な生活の一部に学習内容が生かされていることを実感しましょう。 [スクーリング]レポート範囲に関する内容の解説、楽器による実践を行います。 [放送視聴]NHK高校講座の「音楽I」を全て視聴し、理解を深めてください。 [定期試験] レポートの学習内容を確認します。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
知識・技能 曲想や表現上の効果と音楽の構造がわかり など文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。	思考・判断・表現 音色、リズム、旋律、強弱、構成などを知 覚しそれらの原動力を甘受しながら、どの ように歌うかについて表現意図を持ち表現 できる。	主体的に学習に取り組む 文化的・歴史的背景の学習で、主体的・ 協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうと している。	鑑賞能力	

教科担当より一言
音楽の基本を理解し、世界の音楽に触れ、これからの生活に生かしてみよう。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2TV美術 I	2022		1	

教科書	学習書	副教材
日文 美 I 702 高校生の美術 I	使用しない	使用しない

学習目標
美術の幅広い創造活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する豊かな心を養うとともに、創造的な表現と鑑賞能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

学習内容
・身近なものを描く ・視点と表し方 （第1回レポート） ・人物を描く ・視覚のトリックを生かして ・想像を形に （第2回レポート） ・版で表す ・彫刻 （第3回レポート）

学習方法
○スクーリングで作品を制作します。 ○スクーリングで課題意図や説明を聞き、教科書に紹介されている作品や参考作品等を鑑賞しながら自分の作品制作へ移行します。 ○放送視聴 NHK高校講座「美術 I」を視聴し、理解を深めてください。 ○定期試験は行いません。スクーリング中の関心・意欲・態度、提出された課題の内容、課題の完成度、制作の意図、課題の仕上げの丁寧さなど総合的に判断します。

評価方法
スクーリングに4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席をし、課題を制作し提出してください。 制作コンセプト、制作の過程における関心、意欲、態度、課題の完成度など総合的に判断します。 評価はA、B、C、D、Eの5段階とし、Eは再提出となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
関心・意欲・態度	各課題の内容・意図を理解して制作したか	課題の丁寧さ、完成度	美術的な技能・表現	

教科担当より一言
スクーリングの持ち物は鉛筆2-3本、消しゴム、色鉛筆など、教科書です。教科書は課題説明にも使いますので忘れずに持参してください。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2TV美術 I	2022		1	

教科書	学習書	副教材
日文 美 I 702 高校生の美術 I	使用しない	使用しない

学習目標
美術の幅広い創造活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する豊かな心を養うとともに、創造的な表現と鑑賞能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

学習内容
・ポスターで伝える ・写真で表す ・写真の基礎 （第1回レポート） ・美術史 （第2回レポート） ・様々な描画材料 ・色彩 （第3回レポート）

学習方法
○スクーリングで作品を制作します。 ○スクーリングで課題意図や説明を聞き、教科書に紹介されている作品や参考作品等を鑑賞しながら自分の作品制作へ移行します。 ○放送視聴 NHK高校講座「美術 I」を視聴し、理解を深めてください。 ○定期試験は行いません。スクーリング中の関心・意欲・態度、提出された課題の内容、課題の完成度、制作の意図、課題の仕上げの丁寧さなど総合的に判断します。

評価方法
スクーリングに4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席をし、課題を制作し提出してください。 制作コンセプト、制作の過程における関心、意欲、態度、課題の完成度など総合的に判断します。 評価はA、B、C、D、Eの5段階とし、Eは再提出となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
関心・意欲・態度	各課題の内容・意図を理解して制作したか	課題の丁寧さ、完成度	美術的な技能・表現	

教科担当より一言
スクーリングの持ち物は鉛筆2-3本、消しゴム、色鉛筆など、教科書です。教科書は課題説明にも使いますので忘れずに持参してください。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2TV書道Ⅰ	2025		3	

教科書	学習書	副教材
光村 書Ⅰ 書Ⅰ705	使用しない	使用しない

学習目標
書の表現方法や形式、多様性などについて理解すると共に、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき効果的な表現技法を身に付け、書の美しさを感じ、創作し、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

学習内容
1.書写と書道の違い 臨書とは (第1回レポート) 2.楷書の主な古典作品について (第2回レポート) 3.「摩崖」の書、隅寺心経などの古典作品の臨書 (第3回レポート) 4.NHK高校講座「書道Ⅰ」第1、2回放送視聴 (第4回レポート) 5.NHK高校講座「書道Ⅰ」第3、4回放送視聴 (第5回レポート)

学習方法
[レポート] 教科書を利用して、問いに答えながら内容学習を進める。 [スクーリング] 各自の臨書を指導する。(NHK高校講座「書道Ⅰ」の放送視聴レポート使用により2時間充当) [定期試験] レポート、スクーリングの成果から総合的に判定する。

評価方法
5回のレポートすべてが合格し、授業に2時間出席し、試験が35点以上であることが単位認定の条件となる。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
知識・理解 古典の書体の時代やその用筆・運筆、字形、構成などの特徴について理解を深める。	用具の適切な使用 目的に相応しい用具の使い方を理解し、使いこなすことができる。	観賞 作品の価値や根拠、特徴を捉え、味わい、日本及び中国の書の伝統を理解する。	表現 字画、筆遣い、字形構成などに注意し、感性豊かに味わい、書くことができる。	創作への態度 真摯に創作に向かい、その心情を作品に表現することができる。

教科担当より一言
まず観賞し、その歴史や形を捉えた上で、毛筆の書き味を楽しみながら書に親しんでほしい。

シラバス

単位数	法定 Re 数	法定 Sc 数	必要 Sc 数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2TV書道 I	2025		3	

教科書	学習書	副教材
光村 書 I 705 書 I	使用しない	使用しない

学習目標
書の表現方法や形式、多様性などについて理解すると共に、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき効果的な表現技法を身に付け、書の美しさを感じ、創作し、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

学習内容
1.行書の主な古典作品について (第1回レポート) 2.仮名の書の古典作品について (第2回レポート) 3.漢字仮名交じりの作品について (第3回レポート) 4.NHK高校講座「書道 I」第 8、9 回放送視聴 (第4回レポート) 5.NHK高校講座「書道 I」第14、15回放送視聴 (第5回レポート)

学習方法
[レポート] 教科書を利用して、問いに答えながら内容学習を進める。 [スクーリング] 各自の臨書を指導する。(NHK高校講座「書道 I」の放送視聴レポート使用により 2 時間充当) [定期試験] レポート、スクーリングの成果から総合的に判定する。

評価方法
5回のレポートすべてが合格し、授業に2時間出席し、試験が35点以上であることが単位認定の条件となる。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
知識・理解 古典の漢字、仮名の時代や字形、漢字仮名交じりの構成などについて理解を深める。	用具の適切な使用 目的に相応しい用具の使い方を理解し、使いこなすことができる。	観賞 作品の価値や根拠、特徴を捉え、味わい、日本及び中国の書の伝統を理解する。	表現 字画、筆遣い、字形、構成などを工夫し、感性豊かに書くことができる。	創作への態度 真摯に創作に向かい、その心情を作品に表現することができる。

教科担当より一言
まず観賞し、その歴史や形を捉えた上で、毛筆の書き味を楽しみながら創作に臨み、書に親しんでほしい。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2TV英語C I	2022	74.4	1	

教科書	学習書	副教材
東京書籍 C I 701 All Aboard! English Communication I	東京書籍 All Aboard! English Communication I WORKBOOK	使用しない

学習目標
日常的・社会的な話題について多くの支援を活用すれば必要な情報を読んだり聞いたりすることができる。また基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いたり話したりすることができる。

学習内容
レポート 第1回は、教科書の最初から p.15までのPre-Lessonをあつかう。アルファベットや教室で使う表現、辞書の使い方、be動詞などを学ぶ。 第2回は、教科書 p.16～p.19のPre-Lesson2をあつかう。一般動詞について学ぶ。三人称単数についても注意したい。また、目的語と補語の見分けについてもあつかう。 第3回は、教科書 p.20～p.27のLesson1をあつかう。ベルギーとベトナムに住む人の朝食について読みながら、身の回りのことについての英語表現と、過去形を学ぶ。 放送視聴は、NHK高校講座の「英語コミュニケーション I」を視聴してまとめる。

学習方法
英語コミュニケーション I は、(a)～(d)の4つに分けて分割履修する。そのうち、(a)は、3回のレポートと2枚の放送視聴レポートで学習する。学習をより深くするために、教科書以外にワークブックも参考にする。放送視聴は、NHK高校講座の「英語コミュニケーション I」第1回、2回、3回、4回、5回を視聴して設問に答える形で放送内容をまとめる。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
知識 動詞の過去形を用いた文の形・意味を理解している。 世界の朝食について学んだ事柄や、好きな食べ物について自分の考えや好み、その理由などを整理・理解している。	技能 動詞の過去形の理解をもとに、世界の朝食を紹介するスピーチや、昨夜何をしたかについての対話の内容を聞き取る技能を身につけている。世界の朝食について学んだ事柄を用いて、好きな食べ物について自分の考えや好み、その理由などを書く技能を身につけている。	思考・判断 世界の朝食について書かれた文章の概要を捉えている。	表現 好きな食べ物について紹介するために、世界の朝食について学んだ事柄を用いて、自分の考えや好み、その理由などについて書いている。	主体的に学習に取り組む態度 出来る限り全問題に取り組む、提出期限内にレポートを提出している。

教科担当より一言
身の回りのものは英語で何と言うのか？ 覚えましょう。日常会話の簡単な表現を覚えましょう。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2TV英語C I	2022	75.4	1	

教科書	学習書	副教材
東京書籍 C I 701 All Aboard! English Communication I	東京書籍 All Aboard! English Communication I WORKBOOK	使用しない

学習目標
日常的・社会的な話題について多くの支援を活用すれば必要な情報を読んだり聞いたりすることができる。また基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いたり話したりすることができる。

学習内容
レポート 第1回は、教科書のp.28～p.37までのLesson 2をあつかう。オーストラリアに生息するクオッカという動物の紹介を読みながら、好きな動物について対話する英語表現と、文法項目では進行形を学ぶ。 第2回は、教科書 p.38～p.47のLesson 3をあつかう。三陸鉄道の運転士宇都宮聖花さんの仕事について読みながら、ある場所への行き方とそこでできることについての英語表現を学び、また助動詞について学ぶ。 第3回は、教科書 p.48～p.59のLesson4をあつかう。ボリビアのウユニ塩原を訪れたKateの電子メールを読み、行ってみたい場所ややりたいことについての英語表現と、不定詞を学ぶ。 放送視聴は、NHK高校講座の「英語コミュニケーション I」を視聴してまとめる。

学習方法
英語コミュニケーション I は、(a)～(d)の4つに分けて分割履修する。そのうち、(b)は、3回のレポートと2枚の放送視聴レポートで学習する。学習をより深くするために、教科書以外にワークブックも参考にする。放送視聴は、NHK高校講座の「英語コミュニケーション I」第8回、9回、10回、11回、13回、14回を視聴して設問に答える形で放送内容をまとめる。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
知識 進行形(be動詞+動詞の-ing形)を用いた文の形・意味を理解している。 オーストラリアに生息する珍しい野生動物クオッカについて学んだ事柄を用いて、好きな動物について自分の考えや好み、その理由などを整理・理解している。 など	技能 進行形(be動詞+動詞の-ing形)の理解をもとに、オーストラリアに生息する珍しい野生動物を紹介するスピーチの内容を読み取る技能を身につけている。好きな動物について自分の考えや好み、その理由などを書く技能を身につけている。 など	思考・判断 オーストラリアに生息する珍しい野生動物について書かれた文章の概要を捉えている。 など	表現 好きな動物について紹介するために、オーストラリアに生息する珍しい野生動物クオッカについて学んだ事柄を用いて、自分の考えや好み、その理由などを書いている。	主体的に学習に取り組む態度 出来る限り全問題に取り組む、提出期限内にレポートを提出している。

教科担当より一言
文法は苦手、という人。まずは習った表現を使いこなせるように教科書に出てきた表現をそのまま発話してみましょう。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2TV英語C I	2022	76.4	1	

教科書	学習書	副教材
東京書籍 C I 701 All Aboard! English Communication I	東京書籍 All Aboard! English Communication I WORKBOOK	使用しない

学習目標
日常的・社会的な話題について多くの支援を活用すれば必要な情報を読んだり聞いたりすることができる。また基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いたり話したりすることができる。

学習内容
レポート 第1回は、教科書のp.60～p.73までのLesson5をあつかう。長浜高校水族館部の紹介を読みながら、将来の夢についての英語表現と、文法項目では動名詞を学ぶ。 第2回は、教科書 p.78～p.87のLesson6をあつかう。歌川国芳の浮世絵について読みながら、自分の好きな絵を紹介する英語表現を学び、また受け身について学ぶ。 第3回は、教科書 p.88～p.97のLesson7をあつかう。アンネ・フランクについての英文を読み、関心のある人物を紹介する際の英語表現と、比較表現を学ぶ。 放送視聴は、NHK高校講座の「英語コミュニケーション I」を視聴してまとめる。

学習方法
英語コミュニケーション I は、(a)～(d)の4つに分けて分割履修する。そのうち、(c)は、3回のレポートと2枚の放送視聴レポートで学習する。学習をより深くするために、教科書以外にワークブックも参考にする。放送視聴は、NHK高校講座の「英語コミュニケーション I」第17回、18回、19回、21回、22回を視聴して設問に答える形で放送内容をまとめる。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
知識 動名詞(動詞の-ing形)を用いた文の形・意味・用法を理解している。 など	技能 動名詞(動詞の-ing形)の理解をもとに、高校のユニークな部活動についての紹介や将来の夢について書かれた文章の内容を読み取る技能を身につけている。	思考・判断 水族館部のあるユニークな高校の様子や部員の活動などについて書かれた文章の概要を捉えている。など	表現 将来の夢について紹介するために、自分の考えや、その理由について書いている。	主体的に学習に取り組む態度 出来る限り全問題に取り組む、提出期限内にレポートを提出している。

教科担当より一言
教科書で出てきた表現をまねして、色々なものを紹介してみましょう。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2TV英語C I	2022	77.4	1	

教科書	学習書	副教材
東京書籍 C I 701 All Aboard! English Communication I	東京書籍 All Aboard! English Communication I WORKBOOK	使用しない

学習目標
日常的・社会的な話題について多くの支援を活用すれば必要な情報を読んだり聞いたりすることができる。また基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いたり話したりすることができる。

学習内容
レポート 第1回は、教科書のp.98～p.111までのLesson8をあつかう。ロボットカフェとその役割の紹介を読みながら、自分のアイデアを発表する際の英語表現と、文法項目では現在完了形を学ぶ。 第2回は、教科書 p.112～p.121のLesson9をあつかう。海のプラスチック汚染に関する英文を読みながら、環境問題に関する英語表現を学び、また分詞の後置修飾について学ぶ。 第3回は、教科書 p.122～p.131のLesson10をあつかう。第二次大戦中の沖縄戦と豚についての英文を読み、海外の文化や社会を理解するためにできることについての表現と、関係代名詞を学ぶ。 放送視聴は、NHK高校講座の「英語コミュニケーション I」を視聴してまとめる。

学習方法
英語コミュニケーション I は、(a)～(d)の4つに分けて分割履修する。そのうち、(d)は、3回のレポートと2枚の放送視聴レポートで学習する。学習をより深くするために、教科書以外にワークブックも参考にする。放送視聴は、NHK高校講座の「英語コミュニケーション I」第26回、27回、29回、30回、31回を視聴して設問に答える形で放送内容をまとめる。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
知識 現在完了形(have[has]+過去分詞)を用いた文の形・意味を理解している。ロボットカフェについて学んだり、ロボットについて自分で調べた事柄を整理・理解している。 など	技能 現在完了形(have[has]+過去分詞)の理解をもとに、ロボットカフェを紹介する実況中継や、人の生活を豊かにするロボットについて書かれた記事の内容を読み取る技能を身につけている。	思考・判断 ロボットカフェを紹介する実況中継や、人の生活を豊かにするロボットについて書かれた記事の概要を捉えている。 など	表現 ロボットカフェについて学んだり、ロボットについて自分で調べた事柄を用いて、人の生活を豊かにするロボットのアイデアなどを書いている。	主体的に学習に取り組む態度 出来る限り全問題に取り組む、提出期限内にレポートを提出している。

教科担当より一言
英語を通して環境問題や、多様な人々の生活について想像力を膨らませましょう。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2Radio英語CⅡ	2023	134		

教科書	学習書	副教材
東京書籍 CⅠ701 All Aboard! English CommunicationⅡ	東京書籍 All Aboard! English CommunicationⅡ WORKBOOK	使用しない

学習目標
日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

学習内容
レポート 第1回は、教科書のp.8～p.9までの復習とPre-Lessonをあつかう。英語コミュニケーションⅠで学んだ文法が定着しているか確認し、Ⅱの学習内容にスムーズに入れるようにする。 第2回は、教科書p.10～p.19のLesson1をあつかう。イタリアのブラーノ島に関する英文を読みながら、行ってみたい場所に関する英語表現を学び、また関係代名詞whatについて学ぶ。 第3回は、教科書p.20～p.29のLesson2をあつかう。ビートルズの曲をリクエストする高校生についての英文を読み、世代を超えて人気のある人物について述べる表現を学ぶ。また、文法では比較を学ぶ。 放送視聴は、NHK高校講座の「英語コミュニケーションⅡ」を視聴してまとめる。

学習方法
英語コミュニケーションⅡは、(a)～(d)の4つに分けて分割履修する。そのうち、(a)は、3回のレポートと2枚の放送視聴レポートで学習する。学習をより深くするために、教科書以外にワークブックも参考にする。放送視聴は、NHK高校講座の「英語コミュニケーションⅡ」の第3回、4回、5回、6回、7回、8回を視聴して設問に答える形で放送内容をまとめる。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
知識 to不定詞や助動詞willなどを 用いられた文の形・意味を理解している。	技能 年やってみいたいことなどを、 to不定詞や助動詞willなどを 用いて、相手に伝える技能を 身につけている。	思考・判断 今年やってみいたいことなどを 整理して、相手が理解しやすい ように伝えている。	表現 今年やってみいたいことなどを 整理して、相手が理解しやすい ように伝えている。	主体的に学習に取り組む態度 今年やってみいたいことなどを 整理して、相手が理解しやすい ように伝えようとしている。

教科担当より一言
正しい文法と単語を身に付けて、自分の考えや計画を英語で伝えてみましょう。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2Radio英語CⅡ	2023	135		

教科書	学習書	副教材
東京書籍 CⅡ701 All Aboard! English CommunicationⅡ	東京書籍 All Aboard! English CommunicationⅡ WORKBOOK	使用しない

学習目標
日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

学習内容
レポート 第1回は、教科書のp.30～p.41までのLesson3をあつかう。ヨーロッパのカーニバルに登場するワイルドマンに関する英文を読みながら、身近な行事を紹介する際の英語表現と、文法項目では形式主語のitについて学ぶ。 第2回は、教科書 p.42～p.55のLesson4をあつかう。ハチドリの状態と、物語を読み、自分の好きな物語を紹介する英語表現を学び、また間接疑問文について学ぶ。 第3回は、教科書 p.56～p.69のLesson5をあつかう。歌舞伎メイク（隈取）についての英文を読み、日本の伝統文化を紹介する際に使う表現と、to不定詞を学ぶ。 放送視聴は、NHK高校講座の「英語コミュニケーションⅡ」を視聴してまとめる。

学習方法
英語コミュニケーションⅡは、(a)～(d)の4つに分けて分割履修する。そのうち、(b)は、3回のレポートと2枚の放送視聴レポートで学習する。学習をより深くするために、教科書以外にワークブックも参考にする。放送視聴は、NHK高校講座の「英語コミュニケーションⅡ」の第9回、10回、11回、12回、13回、14回を視聴して設問に答える形で放送内容をまとめる。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
知識 itを用いた文〈It is … (for →) to ～〉 〈It is … that ～〉の形・意味を理解している。 また、ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」について学んだり、身近な行事について調べた事柄を整理・理解している。	技能 itを用いた文〈It is … (for →) to ～〉 〈It is … that ～〉の理解をもとに、ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」について学んだり、身近な行事について自分で調べた事柄を用いて、情報や考えなどを話して伝え合う技能を身につけている。	思考・判断 ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、身近な行事について、相手の意見を知り、	表現 自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。	主体的に学習に取り組む態度 ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、身近な行事について

教科担当より一言
自分の国の文化を紹介したり、他の文化を理解する際に、英語を使ってみましょう。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2Radio英語CⅡ	2023	136		

教科書	学習書	副教材
東京書籍 CⅡ701 All Aboard! English CommunicationⅡ	東京書籍 All Aboard! English CommunicationⅡ WORKBOOK	使用しない

学習目標
日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

学習内容
レポート 第1回は、教科書のp.78～p.91までのLesson6をあつかう。京野菜の保全を目指すクラブ活動に参加するメンバーや取り組みの紹介を読みながら、自分のアイデアを発表する際の英語表現と、文法項目では現在完了形を学ぶ。 第2回は、教科書 p.92～p.105のLesson7をあつかう。アーティストのミヤザキさんの経歴や活動に関する英文を読みながら、海外との交流に関する英語表現を学び、また関係副詞について学ぶ。 第3回は、教科書 p.106～p.119のLesson8をあつかう。生体模倣についての英文を読み、自然界のデザインをヒントに開発された製品に関する表現と、知覚動詞を学ぶ。 放送視聴は、NHK高校講座の「英語コミュニケーションⅡ」を視聴してまとめる。

学習方法
英語コミュニケーションⅡは、(a)～(d)の4つに分けて分割履修する。そのうち、(c)は、3回のレポートと2枚の放送視聴レポートで学習する。学習をより深くするために、教科書以外にワークブックも参考にする。放送視聴は、NHK高校講座の「英語コミュニケーションⅡ」の第28回、29回、30回、31回、32回、33回、34回、35回を視聴して設問に答える形で放送内容をまとめる。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
知識 動詞の目的語になるi節を用いた文を理解している。京野菜について学んだり、京野菜のポスターに書かれた事柄や地元の有名な場所やものについて調べた事柄を整理・理解している。	技能 動詞の目的語になるi節の理解をもとに、京野菜について学んだり、地元の有名な場所やものについて自分で調べた事柄を用いて、地元の有名な場所やものについて紹介するポスターを作成して、考えや情報などを話して伝え合う技能を身につけている。	思考・判断 伝統野菜に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、地元の有名な場所やものについて、相手の意見を知ることができる	表現 自分の考えをまとめるために、考えや情報などを話したり書いたりして伝え合っている。	主体的に学習に取り組む態度 伝統野菜に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、地元の有名な場所やものについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや情報などを話したり書いたりして伝え合おうとしている。

教科担当より一言
文法について正しく理解し、英語を使って自分の意見を伝えられるようになりましょう。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2Radio英語CⅡ	2023	137		

教科書	学習書	副教材
東京書籍 CⅡ701 All Aboard! English CommunicationⅡ	東京書籍 All Aboard! English CommunicationⅡ WORKBOOK	使用しない

学習目標
日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

学習内容
レポート 第1回は、教科書のp.120～p.133までのLesson9をあつかう。チョコレート農家の厳しい現実に関する英文を読みながら、自分の意見を発表する際の英語表現と、文法項目では使役動詞を学ぶ。 第2回第3回は、教科書のp.120～p.133までのLesson9をあつかう。チョコレート農家の厳しい現実に関する英文を読みながら、自分の意見を発表する際の英語表現と、文法項目では使役動詞を学ぶ。 また教科書 p.134～p.145のLesson10をあつかう。ナイチンゲールについての英文を読み、人を助ける職業についての表現と、分詞構文を学ぶ。 放送視聴は、NHK高校講座の「英語コミュニケーションⅡ」を視聴してまとめる。

学習方法
英語コミュニケーションⅡは、(a)～(d)の4つに分けて分割履修する。そのうち、(d)は、3回のレポートと2枚の放送視聴レポートで学習する。学習をより深くするために、教科書以外にワークブックも参考にする。放送視聴は、NHK高校講座を使い、英語について広く知識を深める。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
知識 使役動詞を用いた文の形・意味を理解している。また、チョコレートをめぐる社会問題とその解決策について学んだり、その問題について調べた事柄を整理・理解している。	技能 使役動詞の理解をもとに、チョコレートをめぐる社会問題とその解決策について学んだり、その問題について自分で調べた事柄を用いて、情報や考えなどを話して伝え合う技能を身につけている。	思考・判断 チョコレートをめぐる社会問題とその解決策に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、チョコレートをめぐる社会問題とその解決策について、相手の意見を知ることができる。	表現 自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。	主体的に学習に取り組む態度 チョコレートをめぐる社会問題とその解決策に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、チョコレートをめぐる社会問題とその解決策について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合うとしている。

教科担当より一言
世界中の様々な問題や話題について関心を持ちましょう。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2Radio英語表現 I	2022	86.4	1	

教科書	学習書	副教材
東京書籍 論 I 701 NEW FAVORITE English Logic and	東京書籍 NEW FAVORITE English Logic and Expression I WORKBOOK	使用しない

学習目標
多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、コミュニケーションを通じて情報や気持ち、考えを伝え あったり、話したり書いたりすることができる。論理の構成や展開を工夫することもできる。

学習内容
レポート 第1回は、教科書のp.14～p.19までのLesson1 留学先での初めての食事の場面をあつかう。褒める・勧める・ 断るなどの表現を学ぶ。 第2回は、教科書 p.20～p.25のLesson2 道に迷った・道を案内する場面をあつかう。提案する・依頼する・道 順を説明する表現を学ぶ。 第3回は、教科書 p.26～p.31 Lesson3 身近な人を紹介するスピーチをあつかう。身近な人を紹介する、注意 を引く際の英語表現を学ぶ。 放送視聴は、NHK高校講座「英語表現 I」を聞き、英語の話し方、書き方の理解を深める、レポートを作成する。

学習方法
論理・表現 I は、(a)～(d)の4つに分けて分割履修する。そのうち、(a)は、3回のレポートと2枚の放送視聴レ ポートで学習する。学習をより深くするために、教科書以外に学習書も参考にする。放送視聴は、NHK高校講座 「英語表現 I」を視聴して内容をまとめる。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上 であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
知識 褒める、勧める、断るとき の表現の形・意味・用法 を理解している。など	技能 学んだ知識を用いて、褒める、勧め る、断るとき表現を適切に運用し、 自分の考えや気持ちなどを表現する 基本的な技能を身につけている。な ど	思考・判断 場面や状況を理解している。	表現 適切な表現を用いて、相手を褒め たり、物事を勧めたりしている。ま た、勧誘内容を理解し、提案を 断ったりして、自分の考えや気持 ちなどを表現している。	主体的に学習に取り 組む態度 出来る限り全問題に取り 組み、提出期限内にレ ポートを提出している。

教科担当より一言
教科書を開くと「英語ではこんな言い回しなんだ！」という表現もあるかと思います。積極的に使ってみましょう。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2Radio英語表現 I	2022	87.4	1	

教科書	学習書	副教材
東京書籍 論 I 701 NEW FAVORITE English Logic and	東京書籍 NEW FAVORITE English Logic and Expression I WORKBOOK	使用しない

学習目標
多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、コミュニケーションを通じて情報や気持ち、考えを伝え あったり、話したり書いたりすることができる。論理の構成や展開を工夫することもできる。

学習内容
レポート 第1回は、教科書のp.32～p.37までのLesson4 体調をめぐるやり取りの場面をアツカウ。体調を伝える・体調 を尋ねる・指示・アドバイスをするなどの表現を学ぶ。 第2回は、教科書 p.38～p.43 Lesson5 買い物場面をアツカウ。描写する、相づちを打つ表現を学ぶ。 第3回は、教科書 p.44～p.49 Lesson6 行ってみたい場所についてのライティングをアツカウ。希望を述べ る、理由を述べる際の英語表現を学ぶ。 放送視聴は、NHK高校講座「英語表現 I」を聞き、英語の話し方、書き方の理解を深める、レポートを作成する。

学習方法
論理・表現 I は、(a)～(d)の4つに分けて分割履修する。そのうち、(b)は、3回のレポートと2枚の放送視聴レ ポートで学習する。学習をより深くするために、教科書以外に学習書も参考にする。放送視聴は、NHK高校講座 「英語表現 I」を視聴して内容をまとめる。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上 であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
知識 体調を述べるときの表現 の形・意味・用法を理解 している。など	技能 学んだ知識を用いて、表める。体調に かんする表現を適切に運用し、自分 の体調などを表現する基本的な技能 を身につけている。など	思考・判断 場面や状況を理解している。	表現 適切な表現を用いて、相手の体調 をきいたり、自分の体調を伝えたり する。また、内容を理解し、薬や治 療について表現している。	主体的に学習に取り 組む態度 出来る限り全問題に取り 組み、提出期限内にレ ポートを提出している。

教科担当より一言
教科書を開くと「英語ではこんな言い回しなんだ！」という表現もあるかと思います。積極的に使ってみましょう。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2Radio英語表現 I	2022	88.4	1	

教科書	学習書	副教材
東京書籍 論 I 701 NEW FAVORITE English Logic and	東京書籍 NEW FAVORITE English Logic and Expression I WORKBOOK	使用しない

学習目標
多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、コミュニケーションを通じて情報や気持ち、考えを伝え あったり、話したり書いたりすることができる。論理の構成や展開を工夫することもできる。

学習内容
レポート 第1回は、教科書のp50～p55までをあつかう。イベント等に誘う際の表現を扱う。 第2回は、教科書p56～p61をあつかう。相談する時に使う表現を学ぶ。 第3回は、教科書p62～p67をあつかう。好きな本や映画を紹介する際の英語表現をあつかう。 各回、かならず自分で思考して英作文する部分を設けることで、実用的に英語を運用する意欲につなげる。 放送視聴は、NHK高校講座「英語表現 I」を聞き、英語の話し方、書き方の理解を深める、レポートを作成する。

学習方法
論理・表現 I は、(a)～(d)の4つに分けて分割履修する。そのうち、(c)は、3回のレポートと2枚の放送視聴レ ポートで学習する。学習をより深くするために、教科書以外に学習書も参考にする。放送視聴は、NHK高校講座 「英語表現 I」を視聴して内容をまとめる。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上 であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
知識 褒める、勧める、断るとき の表現の形・意味・用法 を理解している。など	技能 学んだ知識を用いて、褒める、勧め る、断るとき表現を適切に運用し、 自分の考えや気持ちなどを表現する 基本的な技能を身につけている。な ど	思考・判断 場面や状況を理解している。	表現 適切な表現を用いて、相手を褒め たり、物事を勧めたりしている。ま た、勧誘内容を理解し、提案を 断ったりして、自分の考えや気持 ちなどを表現している。	主体的に学習に取り 組む態度 出来る限り全問題に取り 組み、提出期限内にレ ポートを提出している。

教科担当より一言
教科書を開くと「英語ではこんな言い回しなんだ！」という表現もあるかと思います。積極的に使ってみましょう。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2Radio英語表現 I	2022	89.4	1	

教科書	学習書	副教材
東京書籍 論 I 701 NEW FAVORITE English Logic and	東京書籍 NEW FAVORITE English Logic and Expression I WORKBOOK	使用しない

学習目標
多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、コミュニケーションを通じて情報や気持ち、考えを伝え あったり、話したり書いたりすることができる。論理の構成や展開を工夫することもできる。

学習内容
レポート 第1回は、教科書のp68～p73までをあつかう。だれかに謝る際の表現を扱う。 第2回は、教科書p74～p79をあつかう。話し合いをする時に使う表現を学ぶ。 第3回は、教科書p80～p86をあつかう。意見を述べる際の英語表現をあつかう。 各回、かならず自分で思考して英作文する部分を設けることで、実用的に英語を運用する意欲につなげる。 放送視聴は、NHK高校講座「英語表現 I」を聞き、英語の話し方、書き方の理解を深める、レポートを作成する。

学習方法
論理・表現 I は、(a)～(d)の4つに分けて分割履修する。そのうち、(d)は、3回のレポートと2枚の放送視聴レ ポートで学習する。学習をより深くするために、教科書以外に学習書も参考にする。放送視聴は、NHK高校講座 「英語表現 I」を視聴して内容をまとめる。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上 であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
知識 褒める、勧める、断るとき の表現の形・意味・用法 を理解している。など	技能 学んだ知識を用いて、褒める、勧め る、断るとき表現を適切に運用し、 自分の考えや気持ちなどを表現する 基本的な技能を身につけている。な ど	思考・判断 場面や状況を理解している。	表現 適切な表現を用いて、相手を褒め たり、物事を勧めたりしている。ま た、勧誘内容を理解し、提案を 断ったりして、自分の考えや気持 ちなどを表現している。	主体的に学習に取り 組む態度 出来る限り全問題に取り 組み、提出期限内にレ ポートを提出している。

教科担当より一言
教科書を開くと「英語ではこんな言い回しなんだ！」という表現もあるかと思います。積極的に使ってみましょう。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2Radio英語CⅢ	2023	138		

教科書	学習書	副教材
東京書籍 論Ⅱ701 NEW FAVORITE English Logic and	東京書籍 NEW FAVORITE English Logic and Expression Ⅱ WORKBOOK	使用しない

学習目標
一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて文脈にあった質問や答えを続けることで、情報や考え、気持ちなどを詳しく伝え、立場や状況が異なる相手と交渉することができる。論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、詳しく書いて伝えることができる。

学習内容
レポート 第1回は、教科書のp.8～p.11までのLesson1 「友達に報告する」をあつかう。海外で勉強したり、仕事をしたりすることになった際の表現を学ぶ。 第2回は、教科書 p.12～p.15のLesson2 「日本での初登校」をあつかう。自国と他国の文化の差異を説明する表現を学ぶ。 第3回は、教科書 p.16～p.19 Lesson3 「経験についてのスピーチ」をあつかう。自分がボランティア活動をした経験や、その時の感想を述べる英語表現を学ぶ。 放送視聴は、NHK 高校講座「英語コミュニケーションⅢ」を視聴して、英語での表現への理解を深める。

学習方法
論理・表現Ⅱは、(a)～(d)の4つに分けて分割履修する。そのうち、(a)は、3回のレポートと2枚の放送視聴レポートで学習する。学習をより深くするために、教科書以外に学習書も参考にする。放送視聴は、NHK高校講座を利用して英語表現に関する知識を養う。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
知識 訂正する、心配する、感謝するときの表現の形・意味・用法を理解している。	技能 学んだ知識を用いて、訂正する、心配する、感謝するときの表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能を身につけている。	思考・判断 場面や状況を理解している。	表現 適切な表現を用いて、発言や情報などを訂正したり、自分や相手について心配したり、相手に感謝したりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現している。	主体的に学習に取り組む態度 出来る限り全問題に取り組む、提出期限内にレポートを提出している。

教科担当より一言
自分の経験や感想を英語で話したり書いたりして伝えるとき、どのような表現をすればスムーズに伝わるか？？考えてみましょう。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2Radio英語CⅢ	2023	139		

教科書	学習書	副教材
東京書籍 論Ⅱ701 NEW FAVORITE English Logic and	東京書籍 NEW FAVORITE English Logic and Expression Ⅱ WORKBOOK	使用しない

学習目標
一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて文脈にあった質問や答えを続けることで、情報や考え、気持ちなどを詳しく伝え、立場や状況が異なる相手と交渉することができる。論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、詳しく書いて伝えることができる。

学習内容
レポート 第1回は、教科書のp.20～p.23のLesson4「ファンレター」をあつかう。大好きな歌手、スポーツ選手、作家、アーティストにファンレターを書く際の表現を学ぶ。 第2回は、教科書p.24～p.27のLesson5「イベントに誘う」をあつかう。イベントについて説明し、誘う際の表現を学ぶ。 第3回は、教科書p.28～p.31Lesson6「図書館で資料探し」をあつかう。どうしたらいいかわからないときに相談する際の英語表現を学ぶ。 放送視聴は、NHK高校講座「英語コミュニケーションⅢ」を視聴して、英語での表現への理解を深める。

学習方法
論理・表現Ⅱは、(a)～(d)の4つに分けて分割履修する。そのうち、(b)は、3回のレポートと2枚の放送視聴レポートで学習する。学習をより深くするために、教科書以外に学習書も参考にする。放送視聴は、NHK高校講座を利用して英語表現に関する知識を養う。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
知識 望む、褒めるとき表現の形・意味・用法を理解している。	技能 学んだ知識を用いて、望む、褒めるとき表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能を身につけている。	思考・判断 場面や状況を理解している。	表現 適切な表現を用いて、自分の望みを伝えたり、相手のすばらしいところを褒めたりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現している。	主体的に学習に取り組む態度 出来る限り全問題に取り組む、提出期限内にレポートを提出している。

教科担当より一言
英語で伝えたいことを伝えられるように、また相手の意図をくみ取れるように、単語や表現をしっかりと学びましょう。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2Radio英語CⅢ	2023	140		

教科書	学習書	副教材
東京書籍 論Ⅱ701 NEW FAVORITE English Logic and	東京書籍 NEW FAVORITE English Logic and Expression Ⅱ WORKBOOK	使用しない

学習目標
一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて文脈にあった質問や答えを続けることで、情報や考え、気持ちなどを詳しく伝え、立場や状況が異なる相手と交渉することができる。論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、詳しく書いて伝えることができる。

学習内容
レポート 第1回は、教科書のp.32～p.35のLesson7「翻訳についてのスピーチ」をあつかう。文化などを比較する際の表現について学ぶと同時に、日本語と英語の違いについて考察する。 第2回は、教科書 p.36～ p.39のLesson8「通信販売で返品依頼」をあつかう。ネットショッピングで使える表現を取り扱うので、生徒にとっても日常で遭遇しうる事態である。ぜひ身につけたい。 第3回は、教科書 p.40～43のLesson9「タクシーに乗る」をあつかう。タクシー等を利用する際につかう表現を学ぶ。 放送視聴は、NHK 高校講座「英語コミュニケーションⅢ」を視聴して、英語での表現への理解を深める。

学習方法
論理・表現Ⅱは、(a)～(d)の4つに分けて分割履修する。そのうち、(c)は、3回のレポートと2枚の放送視聴レポートで学習する。学習をより深くするために、教科書以外に学習書も参考にする。放送視聴は、NHK高校講座を利用して英語表現に関する知識を養う。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
知識 日常的に遭遇する様々な世 場面の意見や要求を伝える 形式・意味・用法を理解して いる。	技能 学んだ知識を用いて、自分の要望を 伝えるときの表現を適切に運用し、自 分の考えや気持ちなどを詳しく表現す る技能を身につけている。	思考・判断 場面や状況を理解している。	表現 適切な表現を用いて、自分の望み を伝えたり、相手のすばらしいところ を褒めたりして、自分の考えや 気持ちなどを詳しく表現している。	主体的に学習に取り 組む態度 出来る限り全問題に取り 組み、提出期限内にレ ポートを提出している。

教科担当より一言
日常的な表現は、英語ではどんな言い回しなのか？文法的に正しいこともですが、ネイティブならではの表現についても理解を深めましょう。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2Radio英語CⅢ	2023	141		

教科書	学習書	副教材
東京書籍 論Ⅱ701 NEW FAVORITE English Logic and	東京書籍 NEW FAVORITE English Logic and Expression Ⅱ WORKBOOOK	使用しない

学習目標
一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて文脈にあった質問や答えを続けることで、情報や考え、気持ちなどを詳しく伝え、立場や状況が異なる相手と交渉することができる。論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、詳しく書いて伝えることができる。

学習内容
レポート 第1回は、教科書のp.44～p.47のLesson10「友達とディスカッション」をあつかう。ディスカッションで使える表現を身につける。 第2回は、教科書 p.48～ p.51のLesson11「比較結果のプレゼンテーション」をあつかう。インタビューの際の表現や、調査結果を伝える際の表現を学ぶ。 第3回は、教科書 p.52～56のLesson12「就きたい職業」をあつかう。進路の話をする際に使う表現や、理由を述べるときにつかう表現を学ぶ。 放送視聴は、NHK 高校講座「英語コミュニケーションⅢ」を視聴して、英語での表現への理解を深める。

学習方法
論理・表現Ⅱは、(a)～(d)の4つに分けて分割履修する。そのうち、(d)は、3回のレポートと2枚の放送視聴レポートで学習する。学習をより深くするために、教科書以外に学習書も参考にする。放送視聴は、NHK高校講座を利用して英語表現に関する知識を養う。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
知識 さまざまなトピックに関して自分の意見を表現する際の形式・意味・用法を理解している。	技能 学んだ知識を用いて、発表のときの表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能を身につけている。	思考・判断 場面や状況を理解している。	表現 適切な表現を用いて、自分の望みを伝えたり、相手のすばらしいところを褒めたりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現している。	主体的に学習に取り組む態度 出来る限り全問題に取り組む、提出期限内にレポートを提出している。

教科担当より一言
ディスカッションやプレゼンで使う表現を学んで、これからの学校生活や仕事の中で活かしたいですね。

シラバス

18 外国語 183171 英語入門(a)

指導要録科目名 英語入門

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2TV ^ハ ーソック英語	2022	96.4	1	

教科書	学習書	副教材
使用しない	NHK出版 英語 I 入門	使用しない

学習目標
英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。

学習内容
レポート第1回は、学習書 p 8～アルファベットの書き方や辞書の引き方を学び、Lesson1で代名詞やbe動詞や不定冠詞を学ぶ。第2回は、Lesson2・3であいさつの時の表現や、所有格、形容詞、be動詞の疑問文・否定文を学ぶ。第3回は、Lesson4で一般動詞、3単現のs、定冠詞についてや、学習書の巻末でいろいろな表現を学ぶ。 放送視聴は、NHK高校講座のベーシック英語を視聴し、動画を通じて楽しく英語に触れる。

学習方法
英語入門は、(a)～(d)の4つに分けて分割履修する。そのうち、(a)は、3回のレポートと2枚の放送視聴レポートで学習する。放送視聴は、NHK高校講座のベーシック英語を使用する。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	

教科担当より一言
英語学習の基礎となる学習内容なので、アルファベットを正しく丁寧に書くことを意識したり、辞書の引き方を確認して、これからの英語学習の準備としましょう！

シラバス

18 外国語 183171 英語入門(b)

指導要録科目名 英語入門

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2TV [※] →ツツリ英語	2022	97.4	1	

教科書	学習書	副教材
使用しない	NHK出版 英語 I 入門	使用しない

学習目標
英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。

学習内容
レポート第1回は、Lesson5で複数形を学び、本文の内容にふさわしいものを選んだりする。第2回は、Lesson6で一般動詞の疑問文・否定文を学ぶ。また野菜の英単語も学ぶ。第3回は、Lesson8でThere is(are)の文とその否定文疑問文を学ぶ。英語のことわざも学ぶ。 放送視聴は、NHK高校講座のベーシック英語を視聴し、動画を通じて楽しく英語に触れる。

学習方法
英語入門は、(a)～(d)の4つに分けて分割履修する。そのうち、(a)は、3回のレポートと2枚の放送視聴レポートで学習する。放送視聴は、学習書付属のCDでリスニング力を養う。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	

教科担当より一言
英語学習の基礎となる学習内容なので、アルファベットを正しく丁寧に書くことを意識したり、辞書の引き方を確認して、これからの英語学習の準備としましょう！

シラバス

18 外国語 183171 英語入門(c)

指導要録科目名 英語入門

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2TV [※] ・ラジオ英語	2022	98.4	1	

教科書	学習書	副教材
使用しない	NHK出版 英語 I 入門	使用しない

学習目標
英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。

学習内容
レポート第1回は、Lesson9で疑問詞を使った疑問文と答え方について学ぶ。また、職業に関する英単語も学ぶ。第2回は、Lesson10・11で現在進行形や疑問詞whoseについて学ぶ。第3回は、Lesson11を再度復習し、またLesson12で助動詞や命令文について学ぶ。 放送視聴は、NHK高校講座のベーシック英語を視聴し、動画を通じて楽しく英語に触れる。

学習方法
英語入門は、(a)～(d)の4つに分けて分割履修する。そのうち、(a)は、3回のレポートと2枚の放送視聴レポートで学習する。放送視聴は、学習書付属のCDでリスニング力を養う。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	

教科担当より一言
英語学習の基礎となる学習内容なので、アルファベットを正しく丁寧に書くことを意識したり、辞書の引き方を確認して、これからの英語学習の準備としましょう！

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
1	3	4	2	2TV [※] ・ラジオ英語	2022	99.4	1	

教科書	学習書	副教材
使用しない	NHK出版 英語 I 入門	使用しない

学習目標
英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。

学習内容
レポート第1回は、Lesson13be動詞の過去形とその否定文・疑問文について学ぶ。第2回は、Lesson14・15で一般動詞の過去形やその疑問文・否定文について学ぶ。また、英語で計算式を解いたりする。第3回もLesson14・15を再度復習する。また家族についての英単語も学ぶ。 放送視聴は、NHK高校講座のベーシック英語を視聴し、動画を通じて楽しく英語に触れる。

学習方法
英語入門は、(a)～(d)の4つに分けて分割履修する。そのうち、(a)は、3回のレポートと2枚の放送視聴レポートで学習する。放送視聴は、学習書付属のCDでリスニング力を養う。

評価方法
3回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化について の知識・理解	

教科担当より一言
英語学習の基礎となる学習内容なので、アルファベットを正しく丁寧に書くことを意識したり、辞書の引き方を確認して、これからの英語学習の準備としましょう！

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	4	4	2	2TV家庭総合	2022	102.4	1	

教科書	学習書	副教材
実教 家基707 図説家庭基礎	使用しない	使用しない

学習目標
人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ，家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに，生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

学習内容
1. 第1編1.2章「自分らしい生き方と家族・子どもとかわる」 (第1回レポート)
2. 第1編3.4章第2編1章「高齢者とかわる・社会とかわる・食生活をつくる」 (第2回レポート)
3. 第2編2.3章第3編1章「衣生活を作る・住生活をつくる・消費行動を考える」 (第3回レポート)
4. 第3編1・2章「消費行動を考える・経済的に自立する」 (第4回レポート)

学習方法
[レポート] 教科書を参考にし、学習を進めてください。 [スクーリング] レポート問題に関する解説をします。理解を深めてください。 [放送視聴] NHK高校座の「家庭基礎」を全て視聴し、理解を深めてください。 [定期試験] レポートの学習内容を確認します。

評価方法
4回の学習レポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
知識・技能：人間の生涯にわたる発達や生活を総合的に捉え、家族・家庭の意義について理解する。	思考・判断：家庭や地域者相の中から問題を見出し、解決する力を身につけている。	主体的に取り組む態度：協働し、よりよい社会に向けて改善・参画しようと実践する。		

教科担当より一言
家族や生活の営みを人の一生とのかかわりの中でとらえ、家族や家庭生活の在り方、子どもと高齢者の生活と福祉、生活の自立のため、衣食住や生活消費・環境など興味関心をもって学習しましょう。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	4	4	2	2TV家庭総合	2022	103.4		

教科書	学習書	副教材
実教 家総703 家庭総合	使用しない	使用しない

学習目標
人の一生と家族・家庭，子どもや高齢者とかかわりと福祉，消費生活，衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ，家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに，生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

学習内容
1. 第2章「自分らしい生き方と家族」 (第1回レポート) 2. 第3章「子どもとかかわる」 (第2回レポート) 3. 第4章「高齢者とかかわる」第5章「社会とかかわる」 (第3回レポート) 4. 第6章「食生活をつくる」 (第4回レポート)

学習方法
【レポート】教科書を参考にして学習を進めてください。 【スクーリング】レポート範囲の解説を行いますので、レポートを完成させるための大きな助けとなります。 【放送視聴】NHK高校座の「家庭総合」を全て視聴し、特にテーマ「自分・家族」「子ども」「高齢者」はしっかりと視聴し、理解を深めてください。 【試験】レポートの学習内容を確認する問題を出します。

評価方法
4回の学習レポートと2回の放送視聴レポート全てに合格し、授業に2時間以上出席し、試験得点が35点以上であることが単位認定の条件です。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
関心・意欲・態度 ライフステージにおける発達段階を理解し、未来予想図をイメージすることができる。	思考・判断 少子高齢化について社会状況を考えながら、自分の将来について考えることができる。	主体的に取り組む態度 今の自分のこと、将来のことを意欲を持って取り組もうとしている。 男女共同参画について意欲を持って知ろうとしている。		

教科担当より一言
人間の生涯にわたる発達と生活について総合的に考えられるようになりましょう。これからの人生に必要な力がみにつくでしょう。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	4	4	2	2TV家庭総合	2022	104.4		

教科書	学習書	副教材
実教 家総703 家庭総合	使用しない	使用しない

学習目標
人の一生と家族・家庭，子どもや高齢者とのかかわりと福祉，消費生活，衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ，家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに，生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

学習内容
1. 第6章「食生活をつくる」 (第1回レポート) 2. 第7章「衣生活をつくる」 (第2回レポート) 3. 第8章「住生活をつくる」 (第3回レポート) 4. 第9章「消費行動を考える」 第10章「経済的に自立する」 (第4回レポート)

学習方法
【レポート】教科書を参考にして学習を進めてください。 【スクーリング】レポート範囲の解説を行いますので、レポートを完成させるための大きな助けとなります。 【放送視聴】NHK高校座の「家庭総合」を全て視聴し、特にテーマ「食生活」「衣生活」「住生活」はしっかりと視聴し、理解を深めてください。 【試験】レポートの学習内容を確認する問題を出します。

評価方法
4回の学習レポートと2回の放送視聴レポート全てに合格し、授業に2時間以上出席し、試験得点が35点以上であることが単位認定の条件です。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
関心・意欲・態度 よりよい生活の創造に向けて意欲的にとりくもうとする。	思考・判断 生活において課題を考え、解決法をみつけることができる。	知識・理解 風土や宗教による衣食住生活の違いを知る。それぞれの技術を実生活にいかすことができる。		

教科担当より一言
多様な衣食住生活を学び、理解し、実生活においてより快適な生活を送ることが出来るよう、学習した内容を活かしてください。

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	4	4	2	2TV情報Ⅰ	2022	105.4	1	

教科書	学習書	副教材
日文 情報Ⅰ 情Ⅰ710	使用しない	使用しない

学習目標
情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解させるとともに、情報と情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための科学的な考え方を習得させ、情報社会の発展に主体的に寄与する能力と態度を育てる。(＜21/3学習指導要領より)

学習内容
1. 1章「コンピュータによる情報の処理と表現」 (第1回レポート) コンピュータの動作、デジタルデータの表現方法、2進法
2. 2章「ネットワークがつなぐコミュニケーション」 (第2回レポート) ネットワーク、電子メール、暗号化
3. 3.4章「情報システムが支える社会 問題の解決と処理手順の自動化」 (第3回レポート) 情報の検索、情報システム、著作権統計処理
4. 4章「問題の解決と処理手順の自動化」 (第4回レポート) アルゴリズムとフローチャート

学習方法
【レポート】 教科書を参考にして学習を進めてください。 【スクーリング】 レポートの類題演習を行いますので、レポートを完成させるための大きな助けとなります。 【試験】 レポートの学習内容を確認する問題を出します。

評価方法
4回のレポートすべてが合格し、授業に4時間（放送視聴レポート合格の場合は2時間）以上出席し、試験の平均点が35点以上であることが単位認定となります。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
知識・技能 情報社会と人との関り について理解する。	思考力・判断力・表現力等 事象と情報との結びつきの視 点から捉え、情報を適切かつ 効果的に活用できている。	主体的に学習に取り組む態度 情報社会との関りについて、問 題解決に向け主体的に活動して いる。		

教科担当より一言
最も技術革新のスピードが早いIT分野の最新技術を支えるデジタル情報処理について理解を深めること。人類の利便性の追求と幸福の実現の両立に役立つデジタル革命に立ち会おうための準備をスタートさせよう。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	3	2	2	なし	2022		1	

教科書	学習書	副教材

学習目標
探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成することを目指す。

学習内容
第1回：自身が定めた探究テーマについて調べていく。 第2回：第1回で生じた疑問や調べてみたいことについて探究していく。 第3回：第1回、第2回で生じた疑問や調べてみたいことについて探究していく。

学習方法
【レポート】 インターネットや資料を活用しながら自身が定めたテーマについて探究していく。 【スクーリング】 探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を通して、自己のあり方生き方を考えながら、よりよく課題を理解し、内容を伝える。

評価方法
レポートの出来栄と2時間以上のスクーリング出席を総合的に判断して評価する。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
[知識・技能] 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成する。	[思考・判断・表現] 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析し、まとめている。	[主体的に取り組む態度] 探究に主体的に取り組もうとしている。		

教科担当より一言
探究学習をすることで普段の日常生活だけでは得られない発見があると思います。様々なことに目を向けるいい機会になると思うので、意欲的にレポート学習を行ってみてください。

シラバス

単位数	法定 Re数	法定 Sc数	必要 Sc数	必要放送視聴数	改訂・適用校	定期試験 問題番号	配当年次	
2	3	2	2	なし	2022		1	

教科書	学習書	副教材

学習目標
探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成することを目指す。

学習内容
第1回：自身が定めた探究テーマについて調べていく。 第2回：第1回で生じた疑問や調べてみたいことについて探究していく。 第3回：第1回、第2回で生じた疑問や調べてみたいことについて探究していく。

学習方法
【レポート】 インターネットや資料を活用しながら自身が定めたテーマについて探究していく。 【スクーリング】 探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を通して、自己のあり方生き方を考えながら、よりよく課題を理解し、内容を伝え、内容を伝える。

評価方法
レポートの出来栄と2時間以上のスクーリング出席を総合的に判断して評価する。

観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
【知識・技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成する。	【思考・判断・表現】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析し、まとめている。	【主体的に取り組む態度】 探究に主体的に取り組もうとしている。		

教科担当より一言
探究学習をすることで普段の日常生活だけでは得られない発見があると思います。様々なことに目を向けるいい機会になると思うので、意欲的にレポート学習を行ってみてください。